# NUEVA

# ヌエバでチャンピオンを目指せ!!


国際ハンドボール連盟公認球

日本リーグ唯一の公式試合球

全日本大学選手権（インカレ）
唯一の公式試合球



日本ハンドボール協会検定球




## 本大会試合球

国際ハンドボール連盟公認球
日本ハンドボール協会検定球
**32H300WRB　ヌエバ**
●手縫い●天然皮革●3号球●32枚パネル●白×赤×青×黒

国際ハンドボール連盟公認球
日本ハンドボール協会検定球
**32H200WRB　ヌエバ**
●手縫い●天然皮革●2号球●32枚パネル●白×赤×青×黒

molten®
株式会社 モルテン
東京本社　〒130-0003 東京都墨田区横川5丁目5-7
大阪·名古屋·福岡·広島·四国·仙台·札幌·リノU.S.A.·デュッセルドルフG

# 第25回日本リーグ開幕！！



日本ハンドボールリーグ機構　委員長（筆頭常務理事）　山下　泉

10月24日から開幕する日本リーグは25周年記念大会となり、2001年3月18日のプレーオフ決勝戦まで、全国各地で熱戦を展開いたします。シドニー出場権を失った選手たちに21世紀のスタートに立ち、大きく飛躍するために暖かい声援とアテネに挑戦する檄を送っていただきたい。

あらゆる競技種目の企業スポーツにとり、この数年非常に厳しい環境の中、日本リーグに加盟する23チームに対し感謝し、スポーツをする心を持った企業、人生の歓びを与えるスポーツのすばらしさに拍手を送ります。

企業経営者の考え方に左右されやすい企業スポーツの危機を乗り切るには、地域の行政、市民、ファンのサポートなくしては存続はありえません。今こそ地域連携の輪を広げ、ハンドボールを通じてどう地域に貢献できるか、真剣に取り組まなければなりません。チーム関係者は明確なビジョンを打ち出し、地域の期待に応えていただきたい。

生き残りをかけた今シーズン、選手たちの目の色は違っています。乞うご期待！

## 日本リーグのポスター・イラストを描いて　　アオシマ　チュウジ

ハンドボールについては、「足のかわりに手でやる“サッカー”」ぐらいの認識しかなかったのですが、たまたま協会からのポスター依頼の少し前にテレビのスポーツニュースでハンドボールの“激しさ”を知りビックリしていたところです。大学時代ハンドボールのレギュラー選手だったという若手アナウンサー（男子）が日本代表クラスのチームに混じってプレーをすると、ほとんど子供扱い。そのレベルの高さにもまたまたビックリでした。インタビューに答えて一人の選手が「今日は手加減しましたが、ホントの試合では油断するとヒジ打ちあり、足掛けありのほとんど格闘技です」とコメントするのを聞いてまたまたまた三度ビックリ！ そのスサマジサを絵にと思っていどんだのですが、実際の迫力に筆がとどかず、といった感じでスミマセン。



アオシマさん直筆の似顔絵です

アオシマさんプロフィール：1946年静岡県浜松市生まれ。同志社大学卒業。インド南部で商業美術を学ぶ。1995年3月に自由国民社より「墨画DEスポーツ」を発行。

＊第25回日本リーグの日程は26～29頁に掲載されています。

第5回ジャパンオープントーナメント
第56回国民体育大会ハンドボール競技リハーサル大会

# 男子・大同クラブ、女子・宮城ケヤッキーズがともに初優勝

第５回ジャパンオープントーナメント兼第56回国民体育大会ハンドボール競技リハーサル大会は、８月10日より13日まで、富谷町・富谷スポーツセンターと大和町総合体育館を主会場に、宮城大学体育館、大郷町・フラップ大郷21で開催された。

参加チームは、全国各地の予選を勝ち抜いた強豪・男子32チーム、女子16チームであったが、女子の部で、代表者会議当日の交通トラブルに巻き込まれた静岡城北クラブがやむなく棄権に至ったことは残念なことであった。

男子の部は、決勝で第１回から３回までの優勝チーム・香川クラブと大同クラブの対戦となり、大同クラブが高さとパワーで初優勝を飾った。また、かつては日本リーグでも活躍していたが、会社の都合で休部を余儀なくされていた東京の三景が、福井へとその活動の場所を移し、北陸代表となって復活したことは、ハンドボール関係者にとっては喜ばしいことである。大会の方は残念ながら準々決勝で、強豪・香川クラブに敗れ去った。次年度以降の活躍を期待したい。

女子の部は、第１回優勝チームの熊本クラブと地元・宮城ケヤッキーズの対戦となり、明年の国体を控え地元の応援で勢いづいた宮城ケヤッキーズが初優勝を飾った。

## 男子の部

男子の部では、１回戦はシードチームが順調に勝ち上がった。２回戦では、シードチームの一つであった埼玉教員クラブが早くも姿を消した。その他は順調に勝ち上がり、準々決勝では、１チームを除いてシードチームが揃った。準決勝は、実績のあるチームが勝ち残り、日新製鋼対大同クラブ、ケーブルネット氷見対香川クラブの対戦となった。




▲ポストへパスをさばく、林(大同クラブ)

ミドルをねらう中川(ケーブルネット氷見)▶

〈準決勝〉

**日新製鋼　対　大同クラブ**

戦評：過去の日本リーグ、実業団で幾度となく対戦したメンバーの両チームで、立ち上がりは共に動きが固かったが、堅いディフェンスからペースをつかんだ大同クラブが、名取のミドルシュートや、海江田のサイドシュートなどで得点を重ね、前半８点リードで折り返した。後半に入り、日新製鋼も水谷のミドルシュートなどで反撃するが、大同クラブＧＫ林の好守が光り、23―15で大同クラブが快勝した。

**ケーブルネット氷見　対　香川クラブ**

戦評：序盤は香川の早い展開からのポストプレーや、高畠のサイドシュートなどが良く決まり試合の主導権を握った。一方、氷見も堅いディフェンスでリズムを作ると、速攻で



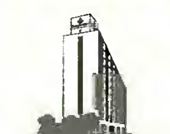


興奮をやすらぎに……
シャンピアホテルグループ

★スポーツ団体特別料金制度をご利用ください。



シャンピアホテル名古屋
〒460-0003 名古屋市中区錦2-20-5 ☎052(203)5858代表
●交通 地下鉄東山線伏見駅より東へ徒歩5分 地下鉄東山線栄駅より西へ徒歩8分 タクシーは名古屋駅より8分



シャンピアホテル大阪
〒530-0052 大阪市北区南扇町6-23 ☎06(6312)5151代表
●交通 新幹線新大阪駅からタクシーで10分 大阪空港からタクシーで20分(阪神高速) 大阪駅から扇町まで徒歩12分

設備のご案内 ●ミーティングルーム●全自動洗濯機・乾燥機設置●VHSビデオ設置

●シャンピアホテル赤坂 ●シャンピアホテル青山 ●シャンピアホテル防府
●知立セントピアホテル ●大津シャンピアホテル
東レエンタープライズ株式会社

反撃し、前半は、香川の2点リードで終了した。後半は両チームの持ち味を生かし緊迫したゲーム展開となった。香川は16分過ぎ一度同点に追いつかれるが、要所で得点を重ね、粘る氷見を突き放して、接戦をものにした。



◀男子優勝の大同クラブ

**〈3位決定戦〉**

**日　新　製　鋼　対　ケーブルネット氷見**

戦評：前半立ち上がり、両チームともパスミスが多く、10分までロースコアで展開する。ここから日新は、氷見のシュートミス、パスミスなどを速攻につなげ着実に加点し、14—7の7点リードで前半を終了。しかし後半に入ると、氷見がスピードで波に乗り、5連取で10分には12—14とイッキに差を縮めた。しだいに日新に焦りが見られる中、氷見は17分過ぎからの4連取で同点に追いついた。ここで日

## 男子の部（平成12年8月10日(木)～8月13日(日)）

1日目 8月10日 ／ 2日目 8月11日 ／ 3日目 8月12日 ／ 4日目 8月13日

**優勝・大同クラブ**

### 左ブロック

| 日程 | チーム | 得点 | 前半 | 後半 | 得点 | チーム |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1日目 | 日新製鋼(広島県) | 35 | 14-11 | 21-7 | 18 | 福島クラブ(福島県) |
| 1日目 | 静岡県教員団(静岡県) | 25 | 10-14 | 15-8 | 22 | 葵クラブ(京都府) |
| 1日目 | 白石クラブ(佐賀県) | 25 | 13-8 | 12-7 | 15 | 愛媛教員クラブ(愛媛県) |
| 1日目 | 野辺地クラブ(青森県) | 16 | 6-13 | 10-17 | 30 | チーム群馬(群馬県) |
| 1日目 | 熊本教員クラブ(熊本県) | 27 | 16-4 | 11-15 | 19 | 総社クラブ(岡山県) |
| 1日目 | SOCIO OSAKA(大阪府) | 24 | 12-13 | 12-10 | 23 | みかん倶楽部(栃木県) |
| 1日目 | 小金クラブ(千葉県) | 23 | 10-7 | 13-11 | 18 | 大瀬クラブ(奈良県) |
| 1日目 | 湯沢クラブ(秋田県) | 6 | 3-19 | 3-17 | 36 | 大同クラブ(愛知県) |
| 2日目 | 日新製鋼 | 37 | 20-8 | 17-13 | 21 | 静岡県教員団 |
| 2日目 | 白石クラブ | 18 | 9-11 | 9-11 | 22 | チーム群馬 |
| 2日目 | 熊本教員クラブ | 22 | 15-6 | 7-14 | 20 | SOCIO OSAKA |
| 2日目 | 小金クラブ | 22 | 14-16 | 8-17 | 33 | 大同クラブ |
| 3日目 | 日新製鋼 | 35 | 18-12 | 17-11 | 23 | チーム群馬 |
| 3日目 | 熊本教員クラブ | 19 | 14-8 | 5-14 | 22 | 大同クラブ |
| 4日目 | 日新製鋼 | 15 | 10-10 | 5-13 | 23 | 大同クラブ |

### 右ブロック

| 日程 | チーム | 得点 | 前半 | 後半 | 得点 | チーム |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1日目 | ケーブルネット氷見(富山県) | 40 | 21-1 | 19-7 | 8 | ホンダクラブ(三重県) |
| 1日目 | 小松ウェンズデー(石川県) | 24 | 10-17 | 14-17 | 34 | パームヒルズクラブ(沖縄県) |
| 1日目 | エルムクラブ(北海道) | 30 | 12-2 | 18-4 | 6 | 周南クラブ(山口県) |
| 1日目 | 西宮東クラブ(兵庫県) | 24 | 12-15 | 12-19 | 34 | 埼玉教員クラブ(埼玉県) |
| 1日目 | 三景(福井県) | 28 | 15-13 | 13-13 | 26 | 甲府クラブ(山梨県) |
| 1日目 | 滋賀クラブ(滋賀県) | 20 | 10-8 | 10-16 | 24 | 紫嵐会(宮城県) |
| 1日目 | 長崎クラブ(長崎県) | 33 | 16-6 | 17-10 | 16 | 花巻クラブ(岩手県) |
| 1日目 | リリオ神奈川(神奈川県) | 11 | 3-17 | 8-12 | 29 | 香川クラブ(香川県) |
| 2日目 | ケーブルネット氷見 | 24 | 10-7 | 14-12 | 19 | パームヒルズクラブ |
| 2日目 | エルムクラブ | 38 | 17-14 | 21-16 | 30 | 埼玉教員クラブ |
| 2日目 | 三景 | 30 | 11-14 | 19-9 | 23 | 紫嵐会 |
| 2日目 | 長崎クラブ | 17 | 10-13 | 7-15 | 28 | 香川クラブ |
| 3日目 | ケーブルネット氷見 | 34 | 16-10 | 18-10 | 20 | エルムクラブ |
| 3日目 | 三景 | 20 | 9-19 | 11-18 | 37 | 香川クラブ |
| 4日目 | ケーブルネット氷見 | 18 | 10-12 | 8-10 | 22 | 香川クラブ |

### 決勝戦・3位決定戦（4日目 8月13日）

| 試合 | チーム | 得点 | 前半 | 後半 | 得点 | チーム |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 決勝戦 | 大同クラブ | 25 | 9-8 | 16-6 | 14 | 香川クラブ |
| 3位決定戦 | 日新製鋼 | 20 | 14-7 | 6-14 | 21 | ケーブルネット氷見 |



◀ポストからねらう日新の鮎沢



◀速攻からシュートを放つ熊本クラブ佐々木

▼香川銀行T.H、星川のロングシュート



新は源内でふんばりリードを守るが、すぐさま氷見も屋敷で追いかける展開。残り5分、お互い譲らず緊迫した攻防で時間が経過したが、残り7秒屋敷がサイドから強引にシュートを決めた。氷見のさよならゲームの様相であった。

昨年優勝の日新製鋼は、4位へとランクを落としたゲームとなった。

〈決　勝〉

**大同クラブ　対　香川クラブ**

戦評：決勝戦は、元韓国代表のイムを擁し大型チームで勝ち上がった大同クラブと、過去4回の大会すべて決勝に進出し、優勝3回を遂げている香川クラブとの対戦となった。

前半は立ち上がりスローペースで進み、17分過ぎまで3—3の同点。ここから香川がまずペースをつかみリードを奪うが、大同も酒匂のミドルシュートなどで5連取し、9—8の1点差で大同リードのまま前半を終了。後半に入ると立ち上がりからイムの好リードのもと、7連続得点などで一気にスパートすると同時に、GK林の好守などで香川の攻撃を封じた。この後徐々に差を広げ、25—14の大差で初優勝を飾った。

## 女子の部

女子の部は、静岡城北クラブの棄権に始まり、波乱の展開となった。1回戦では、昨年の優勝チーム・徳山クラブと第1回優勝の熊本クラブが対戦し、第1シードの徳山クラブが敗れ、また第2シードで第2回のチャンピオンのかながわガビアーノも自力のある香川銀行T・Hに敗れるという波乱での大会スタートであった。

徳山クラブ対熊本クラブの試合は、前半、徳山クラブがカットインし、速攻で得点を挙げたのに対し、熊本クラブはミドルシュート、7mスローで得点し、徳山クラブが14—11の3点リードで終了。後半、徳山クラブは15分過ぎまでリードを保った。しかし、熊本クラブは、17分過ぎから2人の退場者を出すピンチにもかかわらず、7連続得点で24分過ぎには逆転に成功する。徳山クラブもすぐさま取り返し同点とするが、残り3分前に7mスローを熊本森田が決めて24—23の1点差で熊本クラブが勝利を収めた。



◀サウスポー山口（宮城）のロングシュート

かながわガビアーノと香川銀行T・Hは昨年2回戦で対戦し、かながわが勝利を得ており、香川にとっては雪辱戦となる一戦であった。試合は、立ち上がりからロースコアの展開となった。両チームともディフェンスが堅く24分まで4—4だったが、退場を機にかながわが2連取をし7—6のかながわリードで後半を迎える。1点ビハインドで後半を迎えた香川銀行は、9番寺前、7番川田などのシュートで逆転。GKの好セーブにも助けられ、29分過ぎには16—12と最大4点差がついた。かながわは、後半2度のパワープレーのチャンスを活かし切れなかった。

準々決勝では、1回戦を45—10の大差で函館ホッパーズを下した地元宮城ケヤッキーズが、勢いに乗り小松クラブを34—24で破り勝ち上がった。ベスト4の対戦は、熊本クラブ対オレンジクラブ、宮城ケヤッキーズ対香川銀行T・Hの対戦となり、シードチームは1チームを残し、敗れ去った。

〈準決勝〉

**熊本クラブ　対　オレンジクラブ**

戦評：開始早々7mスローで先制したオレンジクラブであったが、その後熊本GK荒木の好守に阻まれなかなか得点できなかった。一方、熊本は森田のミドルシュートや速攻などで6連続得点を挙げるなど着々と加点し、7点リードで前半を折り返した。後半に入っても熊本ペースで試合は進み、14分には24—13と差を広げた。しかしオレンジクラブも徐々にペースをつかみ、熊本の疲れに乗じてここから大反撃を展開したが、3点差に詰め寄るのが精一杯であった。熊本森田の14得点を挙げる活躍が光った。




◀女子優勝の宮城ケヤッキーズ

**宮城ケヤッキーズ　対　香川銀行Ｔ・Ｈ**

戦評：前半立ち上がりからは香川銀行がリズムをつかみ６分過ぎには５－２とリードをする。しかし、宮城ケヤッキーズはＧＫ今野の好セーブなどで、ディフェンスからリズムをつかみ20分過ぎからの８連続得点で逆転し、14－８の６点リードで前半を終了する。後半香川銀行は、９番寺前のミドルシュートなどで反撃するが、点差を縮めることはできず、徐々に差は開き26－14で、宮城ケヤッキーズが決勝進出を決めた。

**〈３位決定戦〉**

**オレンジクラブ　対　香川銀行Ｔ・Ｈ**

戦評：フローターとポストの連携で攻めるオレンジクラブに対し、早いパス回りとフットワークでディフェンスを揺さぶり小刻みに得点を重ねた香川銀行が、序盤からゲームをリードした。後半に入って４点ビハインドを追いかけるオレンジクラブは、大きなミスが続き追いつく好機を逸した。一方香川銀行は、終始走りを止めず、富山、川田の速攻やシュートで決定づけ、24―17で香川銀行が勝利を収めた。

**〈決　勝〉**

**熊本クラブ　対　宮城ケヤッキーズ**

戦評：前半立ち上がりから宮城ケヤッキーズがスピードあるプレーでリズムを作り、山口、板谷のミドルシュートなどで加点。熊本クラブもポストプレーで反撃するが、宮城ケヤッキーズの有利な展開で前半終了。後半熊本クラブ、森田、田口のシュートが決まるが、流れを変えることができず34―24でタイムアップ。熊本クラブ森田の13得点の奮闘も空しく、地元宮城ケヤッキーズの初優勝で大会の幕を閉じた。

## 女子の部（平成12年８月10日㈭～８月12日㈯）

| 1日目 8月10日 | 2日目 8月11日 | 3日目 8月12日 | 2日目 8月11日 | 1日目 8月10日 |
|---|---|---|---|---|

**優勝・宮城ケヤッキーズ**

1日目（8月10日）
- 徳山クラブ（山口県） 23（9・14） － 熊本クラブ（熊本県） 24（13・11）
- 静岡城北クラブ（静岡県） 0 － ビワコ Lakers（滋賀県） 12（棄権）
- コスモスビッキーズ（大分県） 30（15・15） － 大農ＯＧ（秋田県） 19（9・10）
- 三重教員女子（三重県） 22（11・11） － オレンジクラブ（栃木県） 26（13・13）
- 小松クラブ女子（石川県） 32（16・16） － 自衛隊体育学校（埼玉県） 27（13・14）
- 宮城ケヤッキーズ（宮城県） 45（23・22） － 函館ホッパーズ（北海道） 10（3・7）
- 風見鶏クラブ（兵庫県） 14（7・7） － 白梅三英芙会（岩手県） 23（7・16）
- 香川銀行Ｔ・Ｈ（香川県） 16（6・10） － かながわガビアーノ（神奈川県） 13（7・6）

2日目（8月11日）
- 熊本クラブ 22（11・11） － ビワコ Lakers 20（11・9）
- コスモスビッキーズ 13（7・6） － オレンジクラブ 27（16・11）
- 小松クラブ女子 24（8・16） － 宮城ケヤッキーズ 34（17・17）
- 白梅三英芙会 20（9・11） － 香川銀行Ｔ・Ｈ 29（13・16）

3日目（8月12日）
- 熊本クラブ 24（8・16） － オレンジクラブ 21（12・9）
- 宮城ケヤッキーズ 26（14・12） － 香川銀行Ｔ・Ｈ 14（8・6）
- 決勝戦：熊本クラブ 24 － 宮城ケヤッキーズ 34（13-17、11-17）
- ３位決定戦：オレンジクラブ 17 － 香川銀行Ｔ・Ｈ 24（9-13、8-11）

# 平成12年度全国高等学校総合体育大会
# 高松宮賜杯第51回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

# 男子は伊奈高校が2年連続優勝
# 女子は浦和実業学園高校が12年ぶり2回目の優勝



## 2000年岐阜総体 ハンドボール競技を終えて

岐阜県高体連ハンドボール専門委員長　工藤康夫

平成12年度全国高等学校総合体育大会高松宮賜杯第51回全日本高等学校ハンドボール選手権大会が、平成12年8月6日から12日までの日程で、大垣市、上石津町、安八町、池田町の1市3町にて盛大に開催されました。全国各地から予選を勝ち抜いてこられた男女96チームが8月6日、大垣市民会館に集結し、盛大に開会式が挙行されました。安藤和男県高体連ハンドボール専門部長の開会宣言により6日間の競技の幕が切って落とされました。

8月7日と8日の1、2回戦は会場数も6会場と多く、各会場主任、及び各会場地の実行委員会担当者には、言葉に言い表せないご苦労でありました。競技役員、競技補助員の皆様のご苦労にも頭が下がる思いで一杯でした。早朝より本当に暑い最中の運営には、大変ご協力をいただきました。

また、この大会では一人一役推進委員の方々のご尽力も大変でありました。運営役員、運営補助員の選出や調整に時間を割いていただき、誠にありがたかったです。ハンドボール競技には無縁の方たちも多く、こうした方々の協力なくして大会運営はできません。重ねてお礼申し上げる次第です。

8月9日は4会場での3回戦が繰り広げられました。8月10日からの3日間は、男子会場の大垣市総合体育館、女子会場の上石津町総合体育館の会場となり、いやが上にも盛り上がってきました。

地元岐阜県の4チームもそれぞれ健闘しました。その中でも女子の県立益田高校がベスト8に入りました。男子の県立岐阜北高校も惜しくもベスト8を逃し残念でした。初出場というプレッシャーの中で善戦したと思います。ご苦労様でした。

専門委員長という大役を受けてから1年半余りが経ち、大過なく大会が終了できましたことは、目に見えないところで大変多くの方々にご協力賜ったものと感謝している次第です。力不足で多方面にご迷惑をおかけしたと思いますが、どうかご容赦くださいますようお願い申し上げましてお礼の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

## 試合結果

### 《男　子》

［準決勝］

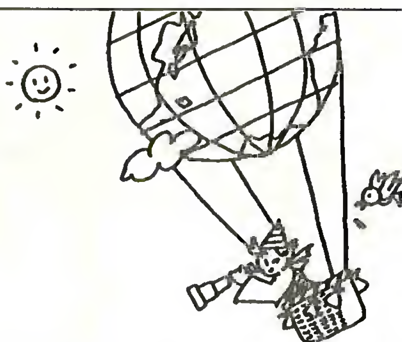
県立伊奈高校　28（13—8 / 15—14）22　桃山学院高校

戦評：桃山は、攻撃の要センター小島の怪我と、伊奈の堅いディフェンスになかなか攻撃のリズムをつかめないが、ディフェンスでは、伊奈のエース岡野にマンツーをつけ、必死に食い下がった。しかし、伊奈はスピードに乗った攻撃で着実に加点し、前半で5点差をつけた。後半の立ち上がり伊奈は、4点連取し突き放しにかかる。桃山も、何と




本社／〒732-0828広島市南区京橋町2-22
TEL082(264)3211

おいしい発見。あたたかい発見。
おしゃれな発見。
あなたの毎日を新しくする。
そんな素敵な発見の場でありたい。
毎日が新しいイズミです。



「まいにち、発見。」




か追いつこうと速攻を出すが、シュートミスが目立ち点差をつめることができなかった。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 瓊浦高校 | 28 | 15—14<br>13—10 | 24 | 大分国際情報高校 |

戦評：九州勢同士の一戦は、スピードある攻防が繰り広げられた。速攻とカットインプレーが中心の大分は、立ち上がりからリード。追う瓊浦は両フローターのシュート力と巧みなポストプレーで粘り強く攻め２３分に逆転。逆に１点をリードして前半を折り返した。後半に入っても一進一退の競り合いが続き、大分は９分に同点とした。しかし瓊浦にも岩永らの速攻が決まりだし、粘る大分に一度もリードを許すことなく逃げ切った。大分は何度も追いつくチャンスがあっただけに残念であった。



［決勝戦］

県立伊奈高校 26 (13—12 / 13—7) 19 瓊浦高校

戦評：パワーと速攻の伊奈・エース岩永とテクニックの瓊浦の一戦は、決勝戦らしく好ゲームとなった。試合は序盤からチームカラーどおりの戦いで競り合いが続いた。しかし、６—６の同点後、伊奈が５連続得点で抜きでようとするが、すかさず瓊浦がタイムアウト。逆に５連続得点と粘



りを見せ、前半を１点差で折り返した。後半に入り、瓊浦はエース岩永に疲れが見えはじめ、シュートミスを連発。一方伊奈は速攻に加え中山が身体を生かしたポストシュートを要所要所で決め、瓊浦をじわじわと引き離した。結局伊奈はそのまま逃げ切り、優勝を勝ち取った。

## 《女　子》

［準決勝］

東海学園高校 19 (8—3 / 11—8) 11 県立福井商業高校

戦評：互いに手の内を探りながらの立ち上がりとなり、前半８分までは０—０であった。中盤互いに１点づつ取り合うが、20分過ぎ、退場者を出す福井商業に対し、ポスト、サイドのシュートが決まりだし、徐々に点差を広げ、５点差で前半を終了した。後半早々、福井商業がカットイン速攻などで連続得点するが、東海学園もパス回しからのポストシュートで反撃する。速いパス回しからのポスト、カットインなどの攻めと堅いディフェンスで終始東海学園がリードし勝利した。福井商業は東海のＧＫの好守もあり谷口のロングが決まらなかったのが響いた。

浦和実業学園高校 20 (10—11 / 10—6) 17 県立大分鶴崎高校




戦評：ほぼ互角の立ち上がりから、大分鶴崎は阿部のロングシュート、梶並の速攻などで先行。終始リードを保つ。一方浦和実業は、安斎のポストシュート、千葉のミドルシュートなどで追い上げ、前半は大分鶴崎11点、浦和実業10点のわずか1点差で終了した。後半すぐに浦和実業は7mTで同点に追いつき逆転。その後、大分鶴崎も連続得点で再逆転と手に汗握る好ゲームとなった。その後も浦和実業が逆転。後半22分に大分鶴崎が追いつき、一進一退が続いた。終盤追いすがる大分鶴崎を浦和実業は千葉のロングシュートやポストシュートで突き離し、勝利した。

［決勝戦］

浦和実業学園高校　20 $\left(\begin{array}{c}11-12\\9-7\end{array}\right)$ 19　東海学園高校

戦評：東海学園は、丸井のロングシュート、生川のポストシュートやカットイン、高橋のポストシュートなど多彩な攻撃で得点するのに対し、浦和実業は、千葉、早川のロングシュートで得点。一進一退の攻防が続き、東海学園12点、浦和実業11点の1点差で前半は終了した。後半すぐに、浦和実業は鈴木のポストシュートで同点に追いつき、その後も一進一退が続き、決勝戦にふさわしい好ゲームとなった。後半28分には2点差をつけられた東海学園は終了間際に7mTを得て得点、1点差まで追い上げたが、タイムアップ。20―19で浦和実業が粘る東海学園を振り切った。






## インターハイを振り返って

男子優勝校／伊奈高校監督　**滝川一徳**

おかげさまで、この度の全国高校総体におきまして2年連続優勝をすることができました。これも一重に諸先輩先生方の心温まるご指導はじめ、優秀な生徒を送ってくださる地元小・中学校の先生方、学校関係者、保護者の方々の力強いご理解・ご協力の賜物と深く感謝いたしております。

昨年、初優勝をすることができ、スタートメンバー4人を残した現チームは確かに過去私が指導したどのチームと比べても技術的・体力的にはトップレベルであり全国制覇を目標にすることのできるチームではありました。しかし、昨年の3年生の抜けた精神的な穴は予想以上に大きく、チームも私も悩み苦しんだ時期がありました。3月の全国選抜大会では興南高校のプレスディフェンスの前に何もできず敗れベスト8に終わりました。心・技・体の体の部分では自信があったもののやはり思い通りの練習ができずに大会に臨んだ結果でした。私自身も昨年の優勝がなかなか頭から離れずついつい妥協していたように思います。試合後



「涙も出ない試合なのか」と一喝したことを思い出します。「夏は勝っても負けても泣ける試合をしよう」「4か月・120日の1日は今から始まるんだ」と言い聞かせました。チームもキャプテン中山を中心に特に大きなショックを引きずることなく、負けて明確となった課題の克服と「夏は伊奈のハンドボールをするんだ」という意気込みで4月・5月・6月と今までになくハードな練習を乗り越えてくれました。幸い大きなケガ人も出さずに関東大会・インターハイ予選を迎えることができ、精神的にも技術的にも成長しているチームを見ていて心のどこかで今年もやれるという自信めいたものも湧いてきたのも事実です。そして迎えた本番において序盤戦は点差は開いたものの内容的には納得のいくゲームではなく、準々決勝前日に「明日の向陵戦が最後だと思って死ぬ気でがんばれ」と言った私の気持ちに選手達はしっかり応えてくれ、予想以上の内容で勝つことができ、その試合を乗り越えた選手からは「こいつらならやってくれる」という信頼感を得ることができました。決勝戦ラスト3分、優勝を確信した選手達は涙を流しながらプレーし、それを見て本当にすばらしい子どもたちと出会えたなと実感しました。

今後も新たな目標に向け、そして2年後の地元茨城インターハイに向けチャレンジ精神を忘れず努力してまいりますのでご指導よろしくお願い致します。

最後になりますが、公私にわたりご指導くださる恩師・松井幸嗣先生、そして遠征合宿等で大変お世話になります福島の小針先生、群馬の齊藤先生、栃木の中山先生、富山の大房先生・金原先生、埼玉の岩本先生はじめ諸先輩先生方にこの場をお借りしまして深く感謝を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。



## インターハイ「優勝」を振り返って

女子優勝校／浦和実業学園高校監督　山田克彦

平成12年8月12日(土)、午前11時13分、岐阜県上石津町総合体育館にて女子決勝戦終了のホイッスルが「ピィー」とオフィシャル席より鳴り響いた。「優勝」だ。と思うと同時に私の心にはひたすら安堵感が漂った。

3年前、「全国中学校大会優勝」の春日部市立大増中学校から両エース千葉・安斉が本校に入学することが決まってから、中学校の先生方が「高校でもう一度全国優勝を目指して欲しい」と蓮田市立蓮田中学校からサイドマン野口、浦和市立田島中学校からGK遠藤、ソフトボール部エース田中、そして翌年には山梨県塩山市立塩山中学校からロングヒッター早川、大増中学校からポストマン鈴木、センター安藤、U16・GK青柳、蓮田中学校からサイドマン渡井



と各ポジションのエキスパート達を集めてくれた。これだけの選手が集まったのは初めての経験である。「全国制覇を目指して欲しい」という期待にどう応えていくか、毎日がプレッシャーとの戦いであった。次々に襲いかかる選手への怪我はさらにその不安を強めた。しかし、私が思うよりも選手たちはそれぞれに怪我を克服し完全ではないが大会には間に合わせてくれた。

今春の全国選抜大会の準決勝では愛知県代表の桜花学園高校と対戦した。22—23と惜しくも1点差で負けはしたが、インターハイでは必ずこの借りを返そうと「打倒桜花学園」を目標に練習に励んできた。しかし、桜花学園高校は予選で東海学園高校に負けた。選手達はあの桜花学園高校を破っての出場チームだということでかなりの緊張感を持ったのは当然であった。

予想通り、決勝は東海学園高校と対戦することとなった。トリッキーなハンドボール、視野外からの回り込み、パス回しのうまさと何よりもDFの巧さとその要であるGKはかなりのキーピング力がある。前日のミーティングではその点を十分に時間をかけて話した。しかし、実際には話したようにはいかないものだ。本当に決勝戦にふさわしいゲーム内容だった。どっちが勝ってもおかしくはない、紙一重の力関係だった。1点の重みを改めて知った。前半、自分達のミスで1点のリードを許す。後半に入ってすぐに2点差とリードを広げるが、すぐに追いつかれ逆転されてしまう。まさに一進一退の攻防であった。残り5分を切ったところで東海学園高校にボールコントロールミスが出始めた。残り1分程のところで準々決勝の途中から怪我のために出場できなくなった野口の替わりとして出場した1年生の千葉(幸)がサイドシュートを決めた。これで2点差。しかも、この時点では姉の千葉(歩)は退場しており、浦和実業は5人で攻撃をしていたのだった。妹がシュートを決めた瞬間、姉はベンチで泣きじゃくっていたことは今も忘れられない。決勝点だった。ずっと無得点だった妹が姉の退場で火がついたのだろうか、それとも野口の思いが運を呼んだのだろうか、3年間怪我のためにほとんど試合にも出られなかったが、この1か月間死に物狂いで練習した田中の執念か。残り15秒、PTを決められて20対19となったが試合終了だ。12年ぶり2回目の優勝だった。母親には「絶対に先生を胴上げしたい」と言ってくれたGK遠藤の願い叶って宙に浮いた私、そして校歌を歌う選手の歓喜溢れる姿に感動を覚えた。

選手の皆に、そして応援に駆けつけてくれた多くのご父兄の皆様方、埼玉県ハンドボール協会並びに関係各位の皆様方に心から感謝申し上げます。

# 平成12年度全国中学校体育大会
# 第29回全国中学校ハンドボール大会

# 男子は仲西中(沖縄)、女子は伊勢山中(愛知)が優勝を飾る

## 第29回全国中学校ハンドボール大会を通して

沖縄県実行委員会競技専門委員長　上江洲登

平成12年度全国中学校大会・第29回全国中学校ハンドボール大会が８月22日から25日まで、沖縄県浦添市の浦添市民体育館と東風平町の東風平町営体育館にそれぞれ２コート計４コートで開催されました。

中学校の全国大会が開催されるのは９年前のバスケットボール（男子が優勝）以来であり、沖縄県勢が強い種目を沖縄で大会を開催するからにはなんとしても良い成績を残そうと、また参加チームには「沖縄で大会をして良かった」と満足してもらうことを目標に準備を進めてきました。

沖縄はご存知のように台風の常襲地で、今年も九州大会の時に沖縄を襲い、全国大会直前には台風が近くにあり、どうなるのかと心配でした。しかし、みんなの願いが通じたのか大会はさしたる影響もなくスムーズに進みました。

昨年と違いエアコンのない体育館で、相手より先に暑さと戦いそして１日２試合を消化していくとても厳しい大会になりました。それでも１回戦から優勝を目指して逆転や１、２点差の好ゲームが展開され、中学生とは思えぬほどのスピードある身のこなしからくり出されるパス、シュートなどとても素晴らしいものがありました。なかでも稙田中学校（大分）が、身長の低さをカバーするテクニックやスピードで決勝まで勝ち残ったのは印象に残ります。

決勝は男子が初出場同士、更に九州大会決勝を戦った仲西中学校（沖縄）と稙田中学校の対戦で、九州大会の雪辱に燃える仲西中学校が稙田中学校のスピードとテクニックを封じ初優勝を飾りました。女子は、準決勝で共に沖縄勢を破ってきた伊勢山中学校（愛知）と住吉中学校（山口）の戦いとなり、ＧＫを中心とした堅い守りの伊勢山中学校が４点差で逃げ切り初優勝を遂げました。

大会に出場したチームはすべてハンドボールのプレイだけではなく礼儀正しさや態度等において鍛えられており、ここまで指導された先生方やコーチ、保護者の協力の賜物であると強く感じました。

観客席の少ない沖縄の体育館で大会はどこまで盛り上がるだろうか不安でした。しかし、コートサイドまで応援や観客を入れたことが、選手と応援の一体感を作り出していたように思います。試合中のガッツポーズ、終了後の応援への挨拶が自然に行われていて、これを見て、選手にとっては思い出に残る大会になったと確信しました。そして、ここまでの幾多の問題、不安材料をチームワークで乗り越えてくれた役員・補助員のみなさん、助言や協力を惜しまなかった競技部長・佐々木英明先生を中心とした各地区ブロック長の先生方、(財)日本中学校体育連盟、(財)日本ハンドボール協会、沖縄県教育委員会、浦添市教育委員会、東風平町教育委員会、沖縄県ハンドボール協会、沖縄県中学校体育連盟、その他多くの方々の多大なるご支援、ご協力により初めてできたことを心から感謝いたします。

最後に、来年は山口県徳山市で開催されます大会の成功を祈念して大会終了の御礼といたします。

## 男　子

■準決勝

稙　田　中　学 33 (20－8 / 13－10) 18 港　川　中　学

戦評：前半立ち上がりから港川10番銘苅のロングシュート、稙田９番長野、７ｍスロー、速攻など両チームともにエースの点の取り合いとなったが、中盤から稙田の守りの要・ＧＫ山本を中心に堅いディフェンスから速攻へと稙田のペ





ースに持ち込み20—８と大きくリードして前半を折り返した。

後半に入っても、稙田は攻撃の手をゆるめることなく攻め、14分過ぎまでに30—12と大きく突き放した。港川も15分過ぎから得点を重ねるものの、前半の失点が大きく、食らいつくことができなかった。稙田は、小柄ながらフットワークが素晴らしく、攻守にわたって港川を圧倒し、33—18で快勝した。

（稲福　正）

仲　西　中　学　28（14—11 / 14—10）21　都　呂　々　中　学

戦評：都呂々は開始直後14番吉野のロングシュートで好スタートを切り、４連続ゴールで４—０と猛ダッシュをかける。一方の仲西はエース２番高田のシュートが決まらず、苦しい展開になるが、開始４分過ぎ、高田の豪快なロングシューが決まると速攻などで反撃に転じ、一気に６—６の同点とする。その後も白熱した展開を見せ、15分仲西は退場者を出し、１人少ない都呂々に対し、銘刈、高田などによるシュートで11—８とリードをする。お互いどちらも譲らず14—11と仲西リードで前半を折り返す。

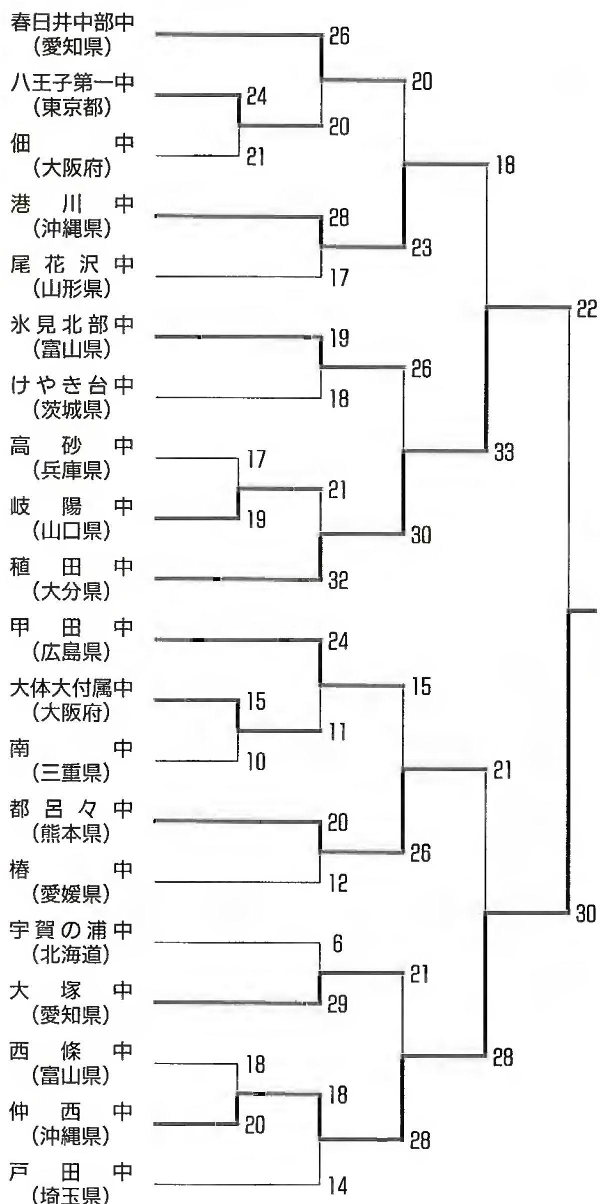
後半開始から仲西のエース高田は徹底的にマークされ、思うように得点できず、一方都呂々はエース吉野を中心に得点を重ね徐々に点差を縮め、開始８分で17—16と１点差に詰め寄る。中盤、差を縮められた仲西は、６番嘉手刈がサイドから技ありのシュートを決めると続々５番銘刈、２番高田のロングと再び22—17と突き放す。



（島袋　勝）

## 平成12年度全国中学校体育大会
## 第29回全国中学校ハンドボール大会結果

### 【男　子】




■決　勝

仲　西　中　学　30（15—８ / 15—14）22　稙　田　中　学

戦評：九州ブロック同士の対決となった男子決勝戦。前半立ち上がりは、７番田中のミドルシュート、パスカットからのノーマークシュート、４番山田の速攻と３点を連取し、稙田中ペースで試合が始まる。しかし、前半５分頃から仲西中ＧＫ比嘉がサイドシュート、速攻からのノーマークシュートを立て続けに止めぐっと流れをつかみ、サイド、ポスト、速攻と次々に稙田中ゴールに襲いかかる。前半10分過ぎ、６番嘉手苅のサイドシュートで逆転に成功する。仲西中はその後も堅い守りからの素早い攻めで得点を重ね、前半は15—８で終了する。

後半も立ち上がりは稙田中が２点を連取するが、仲西中はＧＫの好守やパスカットから得点を重ね、後半10分には

22—12と大きくリードする。その後植田中は守りを立て直し、9番長野、5番藤野の速攻で立て続けに得点を重ねるが、終始リードを保った仲西中学校が30—22で勝利し、優勝を決めた。（新川卓也）

## 女　子

■準決勝

住吉中学 15 (8—10 / 7—4) 14 浦西中学

戦評：前半開始、浦西が先取点。その後すぐ住吉の3番田中が速攻からシュートを決め同点。序盤は両チームとも動きが鈍く、シュートチャンスを作れない。しかし、中盤以降はお互いに速攻をしかけ、スピーディな試合展開となり、浦西が10—8とリードして前半を終了する。

後半開始直後、住吉が2連続得点し、同点に追いつく。それに対し浦西は決め手を欠き、リズムを崩し6分過ぎに逆転される。疲れの見えるエース東長浜をかばうように15番又吉、14番高良がシュートを決め接戦に持ち込むが、住吉は速攻から7番重国が次々にシュートを決め、住吉ペースでゲームが展開される。中盤以降はお互い1点ずつしか取れず、住吉が15—14で勝利した。（神里　太）

伊勢山中学 20 (11—10 / 9—7) 17 仲西中学

戦評：前半1分、伊勢山3番堀のミドルシュートが決まり先制する。仲西は15番玉寄が得点するものの、伊勢山7番樹山の連続速攻などで3連続得点で4—1と5分過ぎまで伊勢山ペースで進む。仲西も15番玉寄の活躍などで徐々に攻撃のペースをつかみ15分過ぎ7—7の同点に追いつく。伊勢山は2番松本の3連続得点で20分過ぎ再びリードを奪い伊勢山1点リードで前半を終了する。

後半、仲西のフォーメーションプレーで玉寄が同点のシュートを決めるが伊勢山はすぐに追いつく。この後、互いに決め手を欠き一進一退の攻防が続き20分で17—17の同点となり残り5分の勝負となった。ここで伊勢山・松本が仲西のパスをカットし逆転のゴールを決めると一気に3点差をつけ伊勢山が逃げ切った。伊勢山2番松本のパスワーク、個人技が光った試合であった。（宮城厚司）

## 平成12年度全国中学校体育大会
## 第29回全国中学校ハンドボール大会結果
### 【女　子】

| 学校 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 東月寒中（北海道） | | 7 | | | |
| 高丘中（兵庫県） | 9 | | | | |
| 宮中（愛知県） | 11 | 23 | 7 | | |
| 浦西中（沖縄県） | | 19 | 12 | 14 | |
| 市川第一中（千葉県） | | 16 | | | |
| 大蔵中（兵庫県） | | 23 | | | |
| 鶴城中（熊本県） | | 25 | 10 | | |
| 日枝中（岐阜県） | 14 | | | | |
| 十三中（富山県） | 15 | 11 | | | |
| 住吉中（山口県） | | 13 | 13 | 15 | 12 |
| 伊勢山中（愛知県） | | 28 | 15 | 20 | 16 |
| 末武中（山口県） | 15 | | | | |
| 原川中（大分県） | 22 | 24 | | | |
| 東邦中（千葉県） | | 15 | 12 | | |
| 下小路中（岩手県） | | 7 | | | |
| 南部中（石川県） | | 14 | 11 | | |
| 住吉第一中（大阪府） | | 13 | | | |
| 仲西中（沖縄県） | 27 | 15 | 20 | 17 | |
| 福生第三中（東京都） | 9 | | | | |
| 香東中（香川県） | | 9 | | | |

優勝・伊勢山中学校

■決　勝

伊勢山中学 16 (10—7 / 6—5) 12 住吉中学

戦評：序盤、両チームとも動きが硬く、伊勢山中は松本の7mスローで先制するも、住吉中GK徳本の好セーブに阻まれ得点が伸びない。また、住吉中も伊勢山中の堅いディフェンスを崩すことができず、シュートまで持ち込めない。5分過ぎ2番小田の速攻で逆転したが、伊勢山中もすぐ5番石黒のカットインで同点に追いつく。ここから松本の変幻自在のパスがさえわたり12分過ぎまでに7—3とリードを奪う。中盤から住吉中5番栗栖の7mスローなど3連取で追い上げるが、伊勢山中も松本のステップ、堀のロング




が決まり応戦し10―7、伊勢山中リードで前半終了する。

後半、伊勢山中が速攻でリードを広げるが、住吉中も7分までに速攻などで4連取し同点に追いつく。ここから両チームGKの好守が目立ち、互いに決め手を欠き、一進一退の展開となるが、11分以降住吉中を無得点に抑えてその間堀のカットイン、永吉、樹山の速攻で伊勢山中がリードを広げ4点差で伊勢山中が逃げ切った。伊勢山中のGKを中心とした堅い守りが勝利を引き寄せた試合であった。

（宮城厚司）

## 優勝監督手記

男子優勝校／仲西中学校監督　照屋　隆

**①浦添市立仲西中学校**：監督・照屋　隆

**②部員**：1年生8名、2年生8名、3年生11名、計27名。

**③指導に当って特に留意されていること**：生徒には、いつも目標を持って練習をさせるようにしている。目標と言ってもいろいろあるが、活動の柱となる「チームとしての目標」を主将を中心として、チーム全員でミーティングさせ、目標設定をさせている。そして、その後のために、自分たちは何をしなければいけないかを考えさせて、チーム全体で目標達成の意識をしっかり持たせる。

練習においては、常に集中し声を出して、全力でプレーすることを心がけさせている。また、何でもないところでのパスミス、キャッチミス、シュートミスなどは、部員全員で厳しく対応していく雰囲気づくりを心がけさせている。試合では練習でやっていることしかできないので、試合の結果よりもそれまでの過程を重視するようにしている。

練習態度だけでなく、日常生活の中での生活態度、学習態度に関してもきちんとさせることを言い続けている。生徒たちには、ハンドボールが上手になって、どんなにすごいプレイヤーになったとしても、部活以外のところでいい加減にすると、チームメイトだけでなくまわりの人たちからも信用されなくなってくると話している。ハンドボールの技能で、目標を達成するのは当然だが、目標達成するのにふさわしい、誰もが認める選手になってほしいと願っている。

**④部員数確保について**：これと言って積極的に行っていないが、2・3年生を中心に小学校時代の後輩や近所の後輩等、部員の知り合い等に声をかけさせて勧誘活動を行っている。

**⑤地域とのかかわりについて**：部員の数名は、自治会の主催するジュニアリーダーに所属しており、定期的に行われるクリーン活動、他地区のジュニアリーダーとの交流会等､練習日程を調整しながら参加させるようにしている。

**⑥ある日の練習メニュー**：1．ランニング（15分）
2．体操、ストレッチ
3．フットワーク・ピストン・サイドステップ・クロスステップ（6mと9m間を7往復の3セット）
4．対人パス、スクエアパス、対角線パス、四角パス(それぞれ10～15分)
5．速攻（1対1、3対2、3対3）
6．シュート（ステップ、ジャンプ）
7．6対6の攻防
8．7mスロー

**⑦他の指導者へ**：自分自身、勉強不足でこれからいろいろなことを学んでいく身なので、助言などできませんが、同じ指導者の立場から言わせてもらえば、お互い頑張っていきましょうということです。

**⑧今後の目標など**：どの学校からも「打倒、仲西」と言われ注目されるプレッシャーに負けないチームを目指したい。

※女子優勝校の伊勢山中学校の原稿は次号に掲載予定です。

フィールドは
あなたの
ステージです！

大崎電気工業株式会社
東京都品川区東五反田2-2-7　〒141-0022
TEL.03(3443)7171　FAX.03(3447)5844



# 第27回全国高等専門学校ハンドボール選手権大会

# 豊田高専が2年ぶり3回目の優勝

第2回全国高等専門学校ハンドボール選手権大会が、8月5、6日に北海道・釧路市、釧路町で開催された。参加校は全国各地の予選を勝ち抜いた11校。大会初日は予選リーグを実施し、2日目は各予選リーグの1位校による決勝トーナメント方式。連日霧雨に煙る釧路は、猛暑の全国各地から参加した選手たちにとっては過ごしやすく、天然クーラーの中での快適な大会開催となった。

予選リーグ第1ブロックは各試合とも大接戦となり、昨年度準優勝校の豊田高専は津山高専に終了直前に辛うじて逆転勝利。第2ブロックは昨年度3位の宇部高専が攻守に安定した力を発揮し決勝トーナメントに進出。第3ブロックは石川高専が高さと堅い守りで失点を抑え、着実に勝ち上がり、第4ブロックは八代高専が、昨年度優勝校の高知高専の多彩な攻めに苦しみながらも接戦を制し、決勝トーナメントに進出した。

## ■予選リーグ

◆第1ブロック

豊田高専 16―15 津山高専
豊田高専 24―9 明石高専
明石高専 20―19 津山高専
[順位] ①豊田高専②明石高専③津山高専

◆第2ブロック

宇部高専 27―19 大阪府立
宇部高専 22―17 有明高専
有明高専 27―26 大阪府立
[順位] ①宇部高専②有明高専③大阪府立

◆第3ブロック

石川高専 17―11 東京高専
石川高専 26―12 一関高専
東京高専 32―12 一関高専
[順位] ①石川高専②東京高専③一関高専

◆第4ブロック

八代高専 21―19 高知高専
[順位] ①八代高専②高知高専

## ■準決勝

豊田高専 25（11―6 / 14―4）10 宇部高専

戦評：豊田は後藤、小林の速攻やサイドが立て続けに決まり、ゲームの主導権を握る。宇部もノーマークチャンスがあったが、豊田のキーパーの攻守に阻まれ、9分過ぎまで無得点。その後、宇部・吉良のロングなどで追い上げるが、点差は縮まらず前半終了。豊田は後半開始早々、小林、伊藤のカットイン、7m、速攻などで6連取し、一気にゲームを決める。宇部は豊田の堅い一線ディフェンスを崩すことができず、不利な状態からのシュートが多く、豊田の速攻を防ぐことができなかった。（小野寺明彦）




八代高専 19（10―9 / 9―9）18 石川高専

戦評：予選リーグで前回優勝の高知を下し勢いのある八代と185cmの前多、186cmの乗地の大型選手を擁す石川の準決勝。八代が大塚のサイドで先制。対する石川も栗原のサイドで応戦。大塚を軸にスピードのある速攻の八代とポストを有効に使う石川の戦いは前半は互角の展開。後半20分に速攻で追いついた石川が、八代・大塚にマンツーマンをしかけるが、その大塚がうまくマークをかわして23分に1点リード。八代GKのファインプレーもあり、八代が逃げ切った。両チームとも十分に持ち味を発揮した好ゲームであった。（山口　工）

## ■決　勝

豊田高専 19（9―4 / 10―6）10 八代高専

戦評：八代は豊田の堅いディフェンスを攻め切れず、前半12分近くまで無得点に抑えられる。豊田も堅いディフェンスから速攻をしかけるが、セットオフェンスが決まらず、ロースコアーの展開が続いた。中盤は両チームともGKの好セーブからリズムに乗った得点が見られた。後半に入っても、八代は豊田のディフェンスを崩せず、なかなか得点できない。これに対し豊田は小林のミドル、伊藤のカットインで加点し点差を広げた。終盤、豊田は退場者を出しながらも運動量のあるディフェンスで八代の追撃を許さず、そのまま逃げ切った。（水谷省一）

# 第4回 OB登場!!

「ＯＢ登場!!」。第４回はかつてミュンヘン五輪の強化本部長を務められた村田弘先生を予定していましたが、手のほうを患われてしまわれ、残念ながらご辞退の連絡をいただきました。そこで今回は少し方向を変え、この方にご登場いただきます。



**河　内　鋭　雄さん**
（かわち　としお）
1933年8月22日生

**東京大学ＯＢ。愛知県出身。旭丘高校で第１回の全日本高校選手権に出場。1956年に東大法学部を卒業。三菱商事株式会社に入社。五陵クラブ、全東大などで全日本総合にも出場。その後、パリやミラノの駐在等を経て、現在は同社の顧問。東京都内に住まわれ、趣味はゴルフと野球。東京大学ハンドボール部ＯＢ会長も務めている。**

**――― ハンドボールとの出会いについて教えてください ―――**

私の旧制中学時代（愛知県立第五中学、後の瑞陵高校)、宇津野年一先生が体育教師として赴任して来られ、熱心にハンドボールを指導しておられました。1948年の学制改革により先生の教え子が愛知県、特に名古屋市内の各高校に散らばり、それぞれのチームの核となりました。本コーナーのトップバッターで登場された浅野克彦氏をはじめとする桜台高校や瑞陵・旭丘・菊里・昭和などの各高校で五中出身者が活躍したものです。私は直接宇津野先生の指導を頂いてはいませんが、強く影響を受け、旭丘併設中学に編入後ハンドボール部に入りました。

**――― 当時の愛知県は激戦ですね ―――**

はい、その頃（1949年頃）はまだ桜台の台頭直前で、瑞陵・旭丘・一宮が３強を形成し1950年に藤井寺で開かれた第１回全日本高校選手権にはわが旭丘と瑞陵が出場。２回戦で福岡の福陵高校に試合終了のホイッスルと同時の失点で敗れました。そして同年の愛知国体予選では、決勝で国体でベスト４になった一宮に１点差で惜敗しました。

**――― そして名門東京大学に進まれました ―――**

大学時代、入学早々の山中湖合宿で高嶋監督（元・日本協会理事長）のもと荒川清美、若崎重富両先生が来られ、超豪華コーチ陣であったこと。1954年、東大を除く六大学と教育大の脱退により一部となり、日体大や芝浦工大、翌年復帰した早・慶など強豪校との対戦。第５回の全日本総合に愛知五陵クラブのメンバーとして参加し、２回戦で前年高校チャンピオンの桐生クラブを接戦で下したことなどが記憶にあります。その他1954・55年の第６・７回の全日本総合、1954年大阪の第１回室内選手権に五陵クラブ、全東大などで出場しています。

**――― 当時のハンドボールはどのようなものでしたか ―――**

当時は正に戦後の勃興期でルールにも種々混乱があったようです。オフサイドにしてもサッカー式の移動オフサイドが短期採用されたり16メートル(だったと思うのですが)オフサイドラインや35メートルラインに変わったりした記憶があります。またシュート後のゴールエリア侵入も1950年頃まで禁止されており、ジャンプシュートはエリアラインに沿って横走りに跳びあがって打っていました。やがて跳び込みジャンプシュートが許されるようになって得点が飛躍的に増えました。

**――― ハンドボールを通して忘れられない思い出はありますか ―――**

1959年３月、勤務先よりパリ勤務を命ぜられ同地に赴任、約５年滞在しました。着任早々当時の協会会長式場隆三郎氏の紹介状を持ってフランス協会のプチモンゴベール会長を訪ねました。同協会のピカール理事長も同席し、彼の紹介でパリ郊外サンモールにあるステラクラブに入会１年ほどプレーしました。外国チーム所属の日本人選手第一号だと思います。ドイツで開催された第４回世界選手権に全日本チームが初めて参加したとき、その前後にフランス各地を転戦、ステラクラブとも対戦をしました。全日本はスカイプレーなど新技術を披露し、至る所で称賛を浴びました。私も全日本に一週間ほど同行し、高嶋監督をはじめ、竹野・近藤・深江・服部等の各選手と楽しい日々を過ごしました。このとき以降も63年の第１回世界学生、70年第７回世界選手権、72年ミュンヘン五輪などで選手諸君との交流ができました。またミュンヘン直前のニュールンベルグで開かれたＩＨＦの総会に、当時の渡辺副会長と共に出席したとき、その歓迎レセプションの場でロシアの代表が、月光の下バラライカを弾きながらロシア民謡を歌ったのは感動的な思い出となっています。

**――― 今のハンドボール界に何かひとつ提言をお願いしたいのですが ―――**

近年、マスターズの大会が誕生し同慶の至りですが、７人制は還暦過ぎにはちとハードですね。年輩ＯＢをコートに呼び返すためにもマスターズの副産物として11人制の試合があったらなあと思います。

**貴重なご意見ありがとうございました。次号もお楽しみに。**

# 触れ合いから身近な存在に

企画・広報委員
早川　文司

Free Throw（フリースロー）

来年の世界選手権アジア予選が終わり、男女が明暗を分けた。男子はサウジアラビアに追い上げ及ばず３点差で屈し、出場権を逃したが、女子は韓国には歯が立たなかったものの中国と戦った準決勝で勝った時点で４大会連続、しかも区切りのいい10度目の出場を飾った。本番まで１年余、十分に強化を図ってアテネ五輪へつなぐ結果を残してもらいたいものだ。

さて、全日本は７月、猛暑の本土を逃れ涼しい北海道で強化合宿を行った。そこでの合宿はオルソン監督時代の96年、昨年に続いて３度目となったが、地元の道都大とのテストマッチ、高校生を対象に指導講習会を開くなど、地域との触れ合いを深めたようだ。こうした交流は、あこがれの選手が身近な存在に感じられるだろうし、将来を背負う若い選手たちにとっては何よりの励みにもなるだろう。また、地方の指導者にとっても、貴重な勉強の場であろう。

以前、高知県協会の武田理事長も話していたが、こうした全日本の地方合宿はハンドボールの普及、振興にはまたとないチャンスである。

この夏の真っ盛りにシドニー五輪に出場した男子卓球チームも同じ北海道で合宿した。こちらは快適なハンドボールの会場と違って函館郊外の中学校の体育館。冷房もなく、蒸し返すような環境だったようだ。しかし、代表選手は黙々と練習に励んだという。

実はこの合宿は、その中学の顧問の先生が東奔西走して実現したらしい。その思いもしない呼びかけに応じた卓球協会の姿勢も立派だと思う。

確かに環境面を考えれば、他にもっといい場所がたくさんあろう。だが、あえてごく普通の中学校の体育館を選択した卓球協会の英断。ハンドボール界も見習うべきことではないだろうか。

ここでも講習会やサイン会などが開かれたが、連日、練習を見守った中学生の視線は鋭かったとか。練習で試合形式になると、その中学生たちは競ってスコア役をつとめたようだ。

「○○選手のようになりたい」「ああいったプレーをしてみたい」。中学生の目は小さいボールの動き、選手のプレーから離れなかったという。こうした体験はきっと彼らの脳裏に焼きついていることだろう。新聞やテレビなどメディアで「卓球」に出会ったら、必ず今まで以上に親近感がわいてくるに違いない。

代表選手にしても、注目されているといっそう気持ちも充実して練習に取り組むことになるはずだ。五輪の報道に中学生はこれまで以上に熱いハートをたぎらせたことだろう。地方でのこうした触れ合い、交流をもっと盛んにしていけば、ハンドボールの知名度はさらに上がり、身近な存在になるはずだ。

asics
カットフォルムに、
トップモデル。
NEW
日本を継承するジャパン。
●ス
グリッ
スカイハンド®ジャパンPRO
カラー/0123 ホワイト×レッド・ブルー
サイズ/22.5〜29.0cm
株式会社アシックス　●インターネットでアシックスの情報を提供しています。http://www.asics.co.jp/
●表示価格は全て消費税抜きのメーカー希望小売価格です。●®は㈱アシックスの登録商標です。●商品についてのお問い合わせは、株式会社アシックスお客様相談室までどうぞ。
本社/〒650-8555 神戸市中央区港島中町7丁目1番1　TEL(078)303-2233　東京支社/〒130-8585 東京都墨田区錦糸4丁目10番11号　TEL(03)3624-1814

※貯めたマイルは、航空券に換えてからご利用ください。

ANA

ANA MILEAGE CLUB

012 345 6789

RICK LEDGER

PICK ME UP!

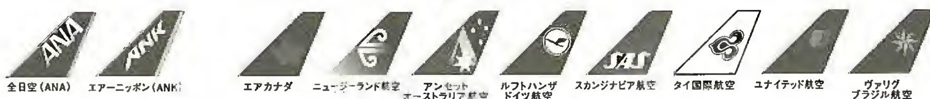
ENOUGH MILES!!

# The MILEAGE of MILEAGES

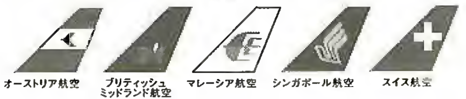
**ネットワークがひろがって、マイルがさらに貯めやすく、使いやすくなりました。**

今、全日空の空が大きく広がろうとしています。充実した国内線はもちろん、国際的な航空会社ネットワーク「スターアライアンス」への加盟により、国際線もさらに拡大。マイレージも、ぐっとワイドに貯まります。選ぶなら、やっぱり「ANAマイレージクラブ」。貯めやすさが断然ちがいます。

*スターアライアンス加盟の提携エアライン




*スターアライアンス以外の提携エアライン




ANAマイレージクラブ

**10月31日 全日空は、スターアライアンスに加盟。世界112ヶ国以上、760以上の都市をネットワークで結びます。**

# 第4回 日韓親善交流会（U－16女子）報告

## 第4回 日韓親善交流会（U－16女子）報告

副団長 溝口 博一

第４回日韓親善交流会に副団長として参加させて頂き、感じたことを報告させて頂きます。

この交流会も第４回ということで、監督とコーチの息の合ったコンビネーションが練習内容、選手の健康管理等いたるところで見受けられました。

私は今回初めてこの交流会に参加させて頂き、当初はスタッフや選手達に馴染めるだろうかと心配致しました。しかし案ずるより産むがやすし、でした。さすが、全国から選ばれた選手達だけあって、技術面ばかりでなく、精神的にも相手を思い遣る心や自ら向上しようとする前向きな姿勢が一つ一つの言動に表れていました。また、スタッフについても選手達一人一人の心の動きまでも気を使い、自然に、士気を高めさせていく心配りのできる方々であり、大変心強く感じられました。

このような日本選手団が韓国の選手団と合同練習をしたり、ゲームをしたりすると、いったいどのような結果が現れるのか大変興味をもちました。これからのオリンピックに日本が出場するためには、現在のナショナルプレイヤーではなく、年齢層が下がった、このアンダー16において、どのような点で引けをとるのか、また、どのような点で勝るのか、まずは、スタッフ共々分析をする必要性があると感じました。

そこで、合同練習並びにゲーム内容を振り返りますと、合同練習は、韓国側のコーチによって進められました。

フットワークの練習が２時間近く続けられ、日本の選手達がついていけるだろうかと心配しました。しかし、韓国の選手達と同じペースで練習をこなしていきました。ただ、この練習では日本の選手達の下半身の弱さ、上半身と下半身とのボディバランスをさらに鍛え上げる必要性を感じました。また、ゲームにおいては、逆境になればなるほど、今の自分の肉体的、精神的状況、チームの状況、相手の状況を素早く把握するとともに、その状況をプラス方向へ転換しようとする精神力を養うことが最重要であると感じました。

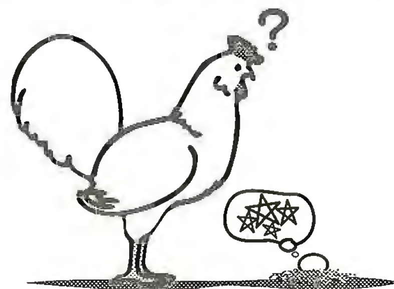
その具体的な例として、まず、ボールコントロール、どのようなボールでもマイボールにしようとするボールに対する執着心、これがルーズボール獲得の原動力だと考えます。また、確実なシュート、７ｍスローでの得点。そして、チームの仲間への声かけ。さらにディフェンス面では、いち早く、周りの状況を把握すると同時に相手の動きの先読みをした動き等が必要であると痛感しました。

全体を通して、韓国は、とにかく「勝つ」こと。そのためにはどのような練習でもこなさなければならないという意識を絶えず選手達に強くもたせながら練習に取り組ませていることを感じました。

これに対して日本の選手達は、まだまだ力を出しきっていない。内に秘められた力は相当に計り知れないものがある！とこの５日間で、おぼろげながら感じとることができました。

最後に、この日韓交流事業に対して物心両面において多大なるご支援、ご協力を賜った愛知県ハンドボール協会の

技術⇔素材
技術が生み出す新素材、素材から生まれる新発想。



技術革新の波が拓く、未知なる世界への挑戦
イノベーション成功のキー・ファクターとして重要なのが素材です。
大同特殊鋼は、特殊鋼をコアとした「技術力」「開発力」で
環境に適応した、新たな素材の世界を創造します。

豊かな未来へ、素材の無限の可能性を追求する、大同特殊鋼。

大同特殊鋼
URL http://www.daido.co.jp/

方々に深く感謝致します。

可能性を秘めたアンダー16の女子選手達。この先にきっとよいことがあることを祈りながら私の報告とさせて頂きます。

## 第4回 日韓ハンドボール交流会(U―16)報告

U―16女子監督 高野 郁代

今回の交流を振り返って、期間が１日減ったことで実際にトレーニングできる日は両方でたった５日間という短い交流でした。その中で、チームをまとめて勝つための難しさを改めて感じ、それでもできるということも実感しました。今後ＮＴＳが軌道に乗り、日本チームも同じように選抜チームで練習をしても全員が同じように全体のシステムや動きができるようになれば、近い将来、必ず韓国に勝てる確信を持ちました。今回意識のレベルが高い選手が多かったことで実現した同点だったと思いますが、せっかくの交流がたった５日間ではなくせめて後１日あったらと強く感じました。選手達が「気持ち次第で何でもできる」ということが改めてわかったことは大きな自信となっていくことでしょう。今後ジュニアに上がり韓国と戦う時は、きっとこの試合を思い出して今度こそ勝ってくれることと信じています。そんな頼もしさを感じさせてくれる選手達でした。さよならパーティーでの日本の選手達の、堂々とした態度、くったくのない表情や明るく振る舞っている様子を見ていると、内に秘められたパワーをひしひしと感じました。このような姿を見ていると日本のハンドボール界を背負っていくにふさわしい資質を持っていると思い、大変心強く思ったのは私だけではないでしょう。




この４年間Ｕ―16として本当に何をすべきで、ジュニアにつなげるにはどうしたらよいかなどと悩んできました。しかし、Ｕ―16の成果が徐々に現れていることは間違いありません。2002年になったらＵ―16はどのような活動になっていくのか……。心配事もたくさんありますが、４年目にしてこのＵ―16に対する選手達のあこがれや期待が大きくなっていることで、意識の高い選手も増えてきたことが結果として現れてきたと喜んでいます。また、今までの選手達が確実に日本のトップ選手として活躍していることがＵ―16としての成果が出ていると思います。

チーム事情もありながら選手を参加させて下さった監督の方々、細かいところまで気を配っていただいた愛知県ハンドボール協会の方々にはいろいろな面で大変お世話になり、誠にありがとうございました。選手達はきっとこのご恩をこれからのハンドボールで返してくれることと信じています。そして、一人でもジュニアに上がれるよう祈っています。

今回このような成果が得られましたのも、今までの交流会において第１回大阪・和歌山・奈良、第２回神奈川、第３回兵庫県ハンドボール協会の方々の並々ならぬご協力、ご援助の賜物であると大変感謝いたしております。本当にありがとうございました。また、今回の交流を始めるにあたりご尽力頂いた故真田先生に、心からお礼申し上げます。

## 日韓ハンドボール交流会(U―16)に参加して

桜花学園高校 樋口 真央

去年は全中と重なったため受け入れだけの参加だったので、訪韓は初めてで環境や雰囲気の違う中で自分の力がどれだけ通用するだろう…とワクワクしていました。去年は初めての試合で、アンダーシュートや１対１がおもしろいように決まりました。でも次の試合からは全てシャットアウトされ何もできず、プレーは相手に対応されてしまいその次の対応が自分にはできず、とても悔しい思いをしました。それだけはしたくないと参加した今回でしたが、結局同じになってしまいました。１日目は12点取れたのが２日目は２点だけでした。この悔しさを胸に名古屋に入りました。

「勝ちたい。勝とうよ」と口に出しても、自分の辛さに負けている自分がいて親善試合では、スタートからどんどん離され、しんどいゲーム展開になってしまいました。「キ

ャプテンだから自分が盛り上げなければいけない…」と思っても声も出せなくなり、シュートにも自信がもてず中途半端になり特に前半はやられっぱなしになっていました。ミーティングで「明日こそは…!!」という気持ちをみんなで持ち、ようやく気持ちも一つになり、朝起きたときから「今日はやってやるぞ」という気持ちで満ちあふれていました。そのせいでスタートから日本がリード。最後は20対20の同点で終了しましたが、ノーマークや７ｍスローを決めていれば…という悔しさでいっぱいでした。勝ちゲームを引き分けにしたという後悔ばかり。でも今までで一番みんなが一つになって戦えたゲームでした。



はじめは遠慮ばかりで一人ひとりのつながりや信頼関係も薄かったけれど、ミスしても体がブルブルと震えるくらいハンドボールが楽しかったです。中学３年で参加した時以上の楽しさでした。それもこれも先生方やこのメンバーがいてくれたお陰です。この日韓交流の熱い気持ちをいつまでも持ち続け、これからもっともっと上手になれるように頑張ります。そして、いつかナショナルチームに入れるよう、みんなに負けないよう精一杯努力していきます。最後にみんなに感謝しています。ありがとう。

# 第4回 日韓ハンドボール交流大会 練習・試合結果について

## 1 韓国・水原市（スゥウォン）にて

・８月15日（火）親善試合・練習試合

日　本 22（14―16 / 8―16）32 韓　国

戦評：初日の30分ゲームとあって、お互いにかたさとミスが目立ち、その中での点の取り合いとなる。韓国チームは、フリースローからのフォーメーションやスカイプレーなど織り混ぜてきた。日本チームは、前後半とも25分過ぎにフットワークがとまり、１対１からのカットインや攻撃のミスからの速攻をくらい、点を離されていった。速攻での得点を許したのは９本、うち６本が後半であった。

日本Ｂ　9―18　韓国Ｂ

・８月16日（水）

日　本 20（11―15 / 9―14）29 韓　国

戦評：日本チームに疲れが目立った試合となる。セットでの攻撃に止まってのプレーが目立ち、そこから走られて速攻や１対１とやりたいようにやられた。しかし、韓国のセットプレーのうち、決められた動きが多いため徐々にその場面では守りだしてきた。１対１でのコンタクプレーのスタミナのなさを感じた。

日本Ｂ　6―16　韓国Ｂ

・８月17日（木）

日　本 19（9―13 / 10―14）27 韓　国

戦評：韓国での最終日とあって、ディフェンスでの集中力が持続できるようになってくる。お互いにロースコアペースの展開となるが、日本にも攻撃での決め手に欠け、選手の不調等もあり20分までは前後半の中でも２、３点差でついていけるようになってくる。ただし、この日は日本のＢチームのがんばりもあり、全員得点という課題は達成した。

日本Ｂ　8―9　韓国Ｂ

## 2 日本・名古屋市（ブラザー工業体育館）にて

・８月27日（日）＊25分ハーフ

日　本 16（8―8 / 8―13）21 韓　国

戦評：日本での初日となるものが入ってのスタートとなり、かなりディフェンスでの強化になった（受け入りのみ参加予定者）。特に、前半はゴールキーパーのセーブに助けられるシーンもあり、ディフェンスでの一体感を感じた。また、相手にも連取される場面が減り、気持ち的にもついていけるようになる。ただし、パスミスからの逆速攻で点を許し



たり、後半の立ち上がりダブルポストのシステムの失敗も響き、点をあけられた。25分間のゲームでは決して見劣りしなくなってきた。

日本B　10—12　韓国B

・8月28日（月）親善試合・練習試合

日　　本　20 (9—17 / 11—10) 27　韓　　国

戦評：開始早々、日本の放ったシュートがことごとくバーにけられ、そのまま走られて7点連取を許す最悪のスタートとなる。こうなってしまうと選抜チームのもろさが出てしまい、お互いに譲ってしまい、せっかく獲得していたディフェンスのコンビネーションまで崩してしまう。しかし、後半の30分では初めて1点リードする力も備わってきた。スタートの大切さを再認識させられた試合となる。

日本B　6—9　韓国B

・8月29日（火）＊25分ハーフ

日　　本　20 (10—10 / 10—10) 20　韓　　国

戦評：今回の交流試合のラストということもありかなりの気迫で望める。昨日の失敗を良い教訓としたため、まさに一進一退の試合展開となり、途中韓国チームが先にタイムアウトを取るシーンも出た。ディフェンスからの速攻やパスカット、ミドルシュートやフリースローからのロングシュートなど日本の持ち味がすべて出ていた。ただし、7mTの失敗などノーマークシュートミスは日本側に多く、最後の詰めの甘さはあった。しかし、この日の日本チームの同点には、とてもこの先勇気づけられるものを感じた。




日本B　8—10　韓国B

## 日本チーム得点一覧

| 氏　　名 | ポジ | 所　　属 | 15日 | 16日 | 17日 | 27日 | 28日 | 29日 | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 川　崎　晴　香 | GK | 宣　真　高　校 | | | | | | | |
| 山　下　孝　子 | GK | 桜　花　高　校 | | | | | | | |
| 横　井　美　季 | GK | 明　倫　中　学 | | | | | | | |
| 植　垣　暁　恵 | CP | 宣　真　高　校 | 4 | 5 | 2 | 4 | 3 | 4 | 22(2) |
| 山　根　有　加 | CP | 夙　川　高　校 | 不参加 | 不参加 | 不参加 | 1 | 4 | 1 | 6 |
| 柏　原　華　奈 | CP | 桜　花　高　校 | 0 | 1 | 4 | 3 | 1 | 0 | 9 |
| 樋　口　真　央 | CP | 桜　花　高　校 | 12 | 3 | 2 | 2 | 3 | 5 | 27(5) |
| 尾　崎　由　佳 | CP | 岩　国　商　高 | 3 | 2 | 0 | 6 | 3 | 5 | 19 |
| 仲　宗　根　彩 | CP | 陽　明　高　校 | 1 | 2 | 5 | 0 | 4 | 4 | 16 |
| 五月女　美　代 | CP | 埼　玉　栄　高 | 2 | 5 | 5 | 1 | 3 | 5 | 21 |
| 立　野　　綾 | CP | 氷　見　高　校 | 3 | 4 | 1 | 4 | 2 | 1 | 15 |
| 北　村　さやか | CP | 水海道二高 | 1 | 1 | 2 | 0 | 1 | 0 | 5 |
| 荒　木　美　穂 | CP | 氷　見　高　校 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 片　山　奈津江 | CP | 宮　　中　　学 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 6 |
| 山　崎　友　加 | CP | 吉川中央中 | 0 | 0 | 1 | 2 | 1 | 1 | 5 |
| 坪　田　悠　里 | CP | 明　倫　中　学 | 2 | 2 | 2 | 3 | 1 | 0 | 10 |

（　）は7mTによるもの

連載6

# NTS(ナショナルトレーニングシステム)の強化指導:技術・戦術について

NTS運営委員長 蒲 生 晴 明

NTSは、クリエイティブなアスリートを養成していくシステムです。もちろん、そのためには良き指導者が必要ですし、当然指導者のレベルアップが要求されてきます。今回、強化指導を実施していくためにハンドボール競技としての技術・戦術の体系を連載します。

1：個人技術
2：個人戦術（攻撃）
3：個人戦術（防御）

左記の体系をもとに、8～14才頃（ゴールデンエイジ）の子供たちに必要な基本的技術、戦術をトレーニングしていきます。

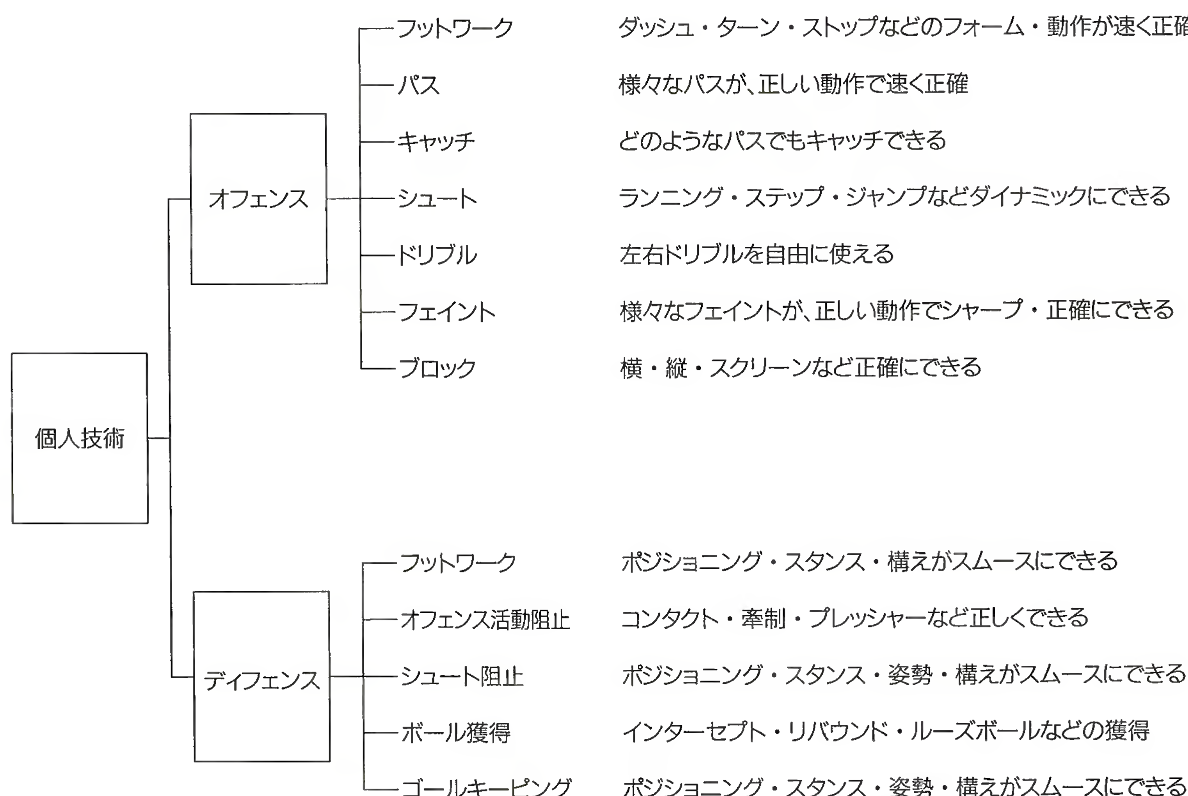
本年については、全体について掲載紹介できませんでしたけれども逐次、見直し・改定をしていく所存であります。

世界のハンドボール技術・戦術は、日進月歩でよりクリエイティブなものになっております。日本が世界で活躍するために世界の技術・戦術を分析し、日本独自の技術・戦術を作り上げていくことが重要です。

## ハンドボールの技術・戦術

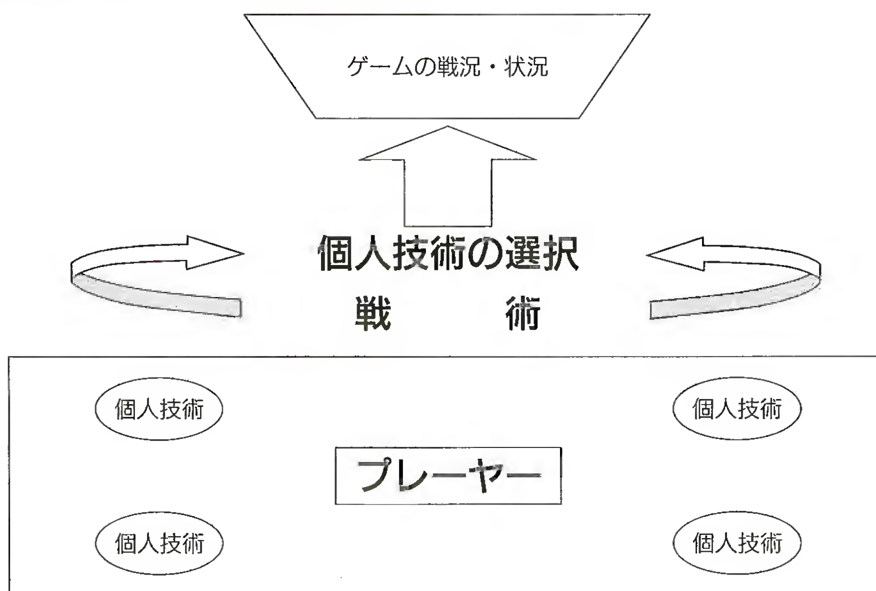
### 1 個人技術

個人戦術といっても、オフェンス（攻撃）とディフェンス（防御）の2つに大別できる。オフェンス面の技術だけをみても、フットワークの始まり、パス・キャッチなど多岐にわたって構成されており、ディフェンス面でも同様である。これらの技術を総合的に体得することで、クリエイティブなベストプレーにつながるのである。



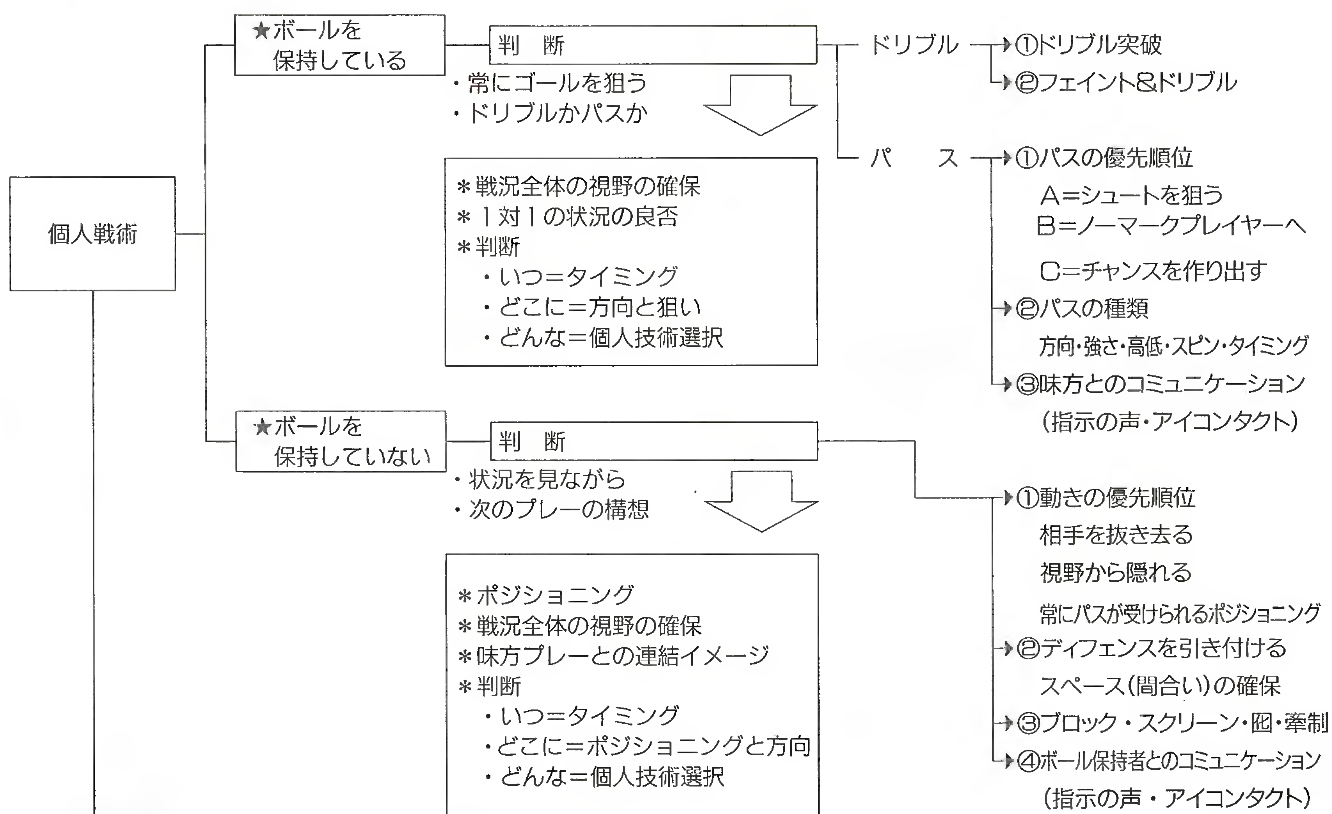
## 2　個人戦術

ゲームにおいて、その場面でベストプレー（個人技術）をタイムリーに選択できること。シュートを打つのか、あるいはパスをするのかなど、瞬時の判断において個人が保有している個人技術を実際のプレーへと使用することこそ、個人戦術である。

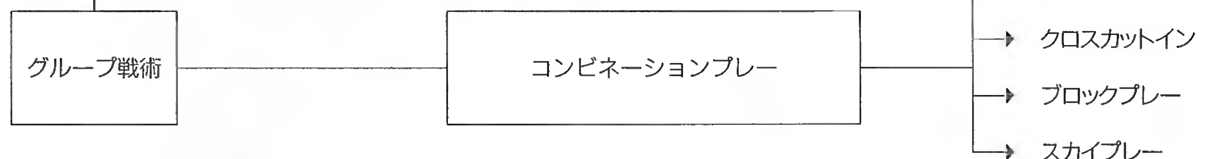



### 戦術理論（攻撃）

### 1．攻撃における個人戦術

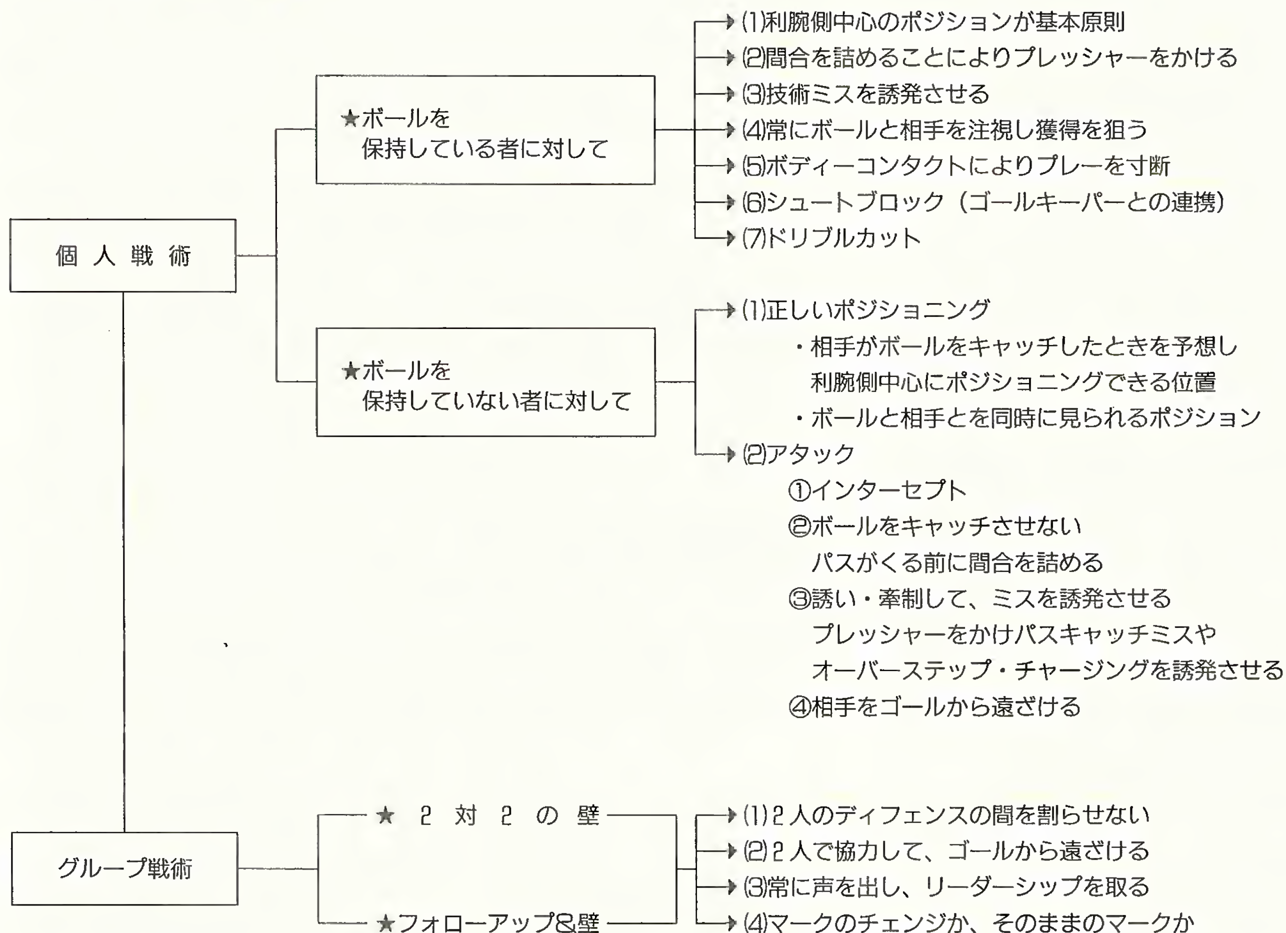



### 2．攻撃におけるコンビネーション



## 戦術理論（防御）

### 1．防御における個人戦術




最後になりましたが、NTSの強化指導教本＆コーチングビデオを購入していただき普段の子供たちの強化指導に活用していただければ、幸いです。

### 申し込み方法

現金書留で、下記の住所に申し込んでください。
〒150-0041　東京都渋谷区神南1-1-1岸記念体育会館内
財団法人　日本ハンドボール協会
NTS強化指導教本＆コーチングビデオ係

1セットの場合：10,000円＋送料(　900円)＝10,900円
2セット以上：(セット数×10,000円)＋送料(1,000円)
セット内容：強化指導教本……1冊、
コーチングビデオ60分VTR……2巻

地球と技術と人が生み出すエネルギー



暮らしに夢をともしたい
北陸電力

# 平成12年度
# トップレフェリー・日本リーグ担当レフェリー研修会

審判部長　斉藤　実

平成10・11年度とトップレフェリー研修会を実施して参りました。初年度は各ブロックNo.１と国際審判員を、次年度は指名候補者と国際審判員を対象にし、各地域・大会にて伝達し全体のレベルアップを目指す予定でした。しかしながら、受講者が各地域あるいは大会において、研修内容を伝達するシステムに未熟さがあり、私の思惑通りにはいきませんでした。この間、日本リーグでのレフェリーのゲーム運営に対する不満が耳に入り、ベンチ失格等好ましからざる報告が入って参りました。

現在の審判部は日本リーグを国内最高レベルのゲームとし、レフェリーを各ブロックから推薦されたＡ級で編成しておりました。それでありながら問題の多さにどう対処すべきかを考えなくてはなりません。確かに最近は外国選手の導入で、レフェリングが以前より難しさを増していることは事実ですが、手を拱いていることは許されません。

そこで今年度は、思い切って日本リーグを担当するレフェリーを集めての研修会にすることにしました。当然従来のトップレフェリーも入るので一石二鳥です。ただ約50ペアに近い審判員を集める予算措置がない。トップレフェリー研修会の為の予算は組んであるものの、とても足りません。そこで大崎企業スポーツ財団の援助を得ることとし、助成金の交付を得て実施いたしました。総勢53名の参加者での研修会でした。





［期　日］　平成12年７月21日～23日
［会　場］　大崎電気埼玉工場体育館・研修室・グランド
［モデル］　大崎電気男子チーム・西武台高校チーム
［内　容］　１．座学
①講義（技術と反則について）
②テスト（ペーパー・ビデオ）
③討論会（失格処置のコーチの言い分と担当レフェリーの見解）
④ビデオテープによる研修（ＩＨＦビデオ）
⑤ＩＨＦシンポジウムの報告
２．体力テスト（クーパーテスト）
３．実技研修（ゲーム形式で全員）

この研修会のレベルを高めるために更に研究を重ねなければなりませんが、参加者には好評であり、特に討論会は有意義であったとアンケートに多く記されていました。

今後の措置としまして、この研修会をただ実施したに終わらせてはいけないので、本年度の日本リーグに於きまして、会場地の方の協力を得ながら、レフェリーに研修の成果が現れているか否かの評価を得たいと考えています。それをもとに、今後のレフェリーの指導の方向性等を見いだしていきたいと考えております。

最後に、今回の研修会実施にあたりまして、大崎電気チーム並びに山本・菅田両氏に多大なご協力をいただき、無事終了できましたことを紙面を借りて御礼申し上げます。




新鮮な明日へ
KIRIN
うまい!キリン
キリンラガービール
飲酒は20歳になってから。空きびんはお取扱い店へお戻し下さい。
ホームページアドレス http://www.kirin.co.jp　キリンビール株式会社

# 第25回日本ハンドボールリーグ日程表　1

| 週 | 月　日 | 開催地 | 会　　場 | 時間 | 組み合わせ |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10月24日（火） | 愛知県 | 知立市福祉体育館 | 18：00 | 【1部男子】トヨタ車体×湧永製薬 |
| | 10月26日（木） | 山口県 | 徳山市総合スポーツセンター | 18：00 | 【2部男子】トクヤマ×豊田合成 |
| | 10月27日（金） | 東京都 | 東京体育館 | 19：00 | 【1部男子】三陽商会×OSAKI OSOL |
| | 10月28日（土） | 三重県 | 鈴鹿市体育館 | 13：00 | 【1部男子】本田技研×デンソー |
| | | 富山県 | 三協アルミスポーツセンター | 13：00 | 【1部女子】北國銀行×ソニー国分 |
| | | | | 14：30 | 【1部女子】立山アルミ×シャトレーゼ |
| | | 佐賀県 | 三日月町民体育館 | 15：00 | 【2部男子】アラコ九州×大阪ガス |
| | 10月29日（日） | 愛知県 | 天白スポーツセンター | 12：00 | 【2部男子】トヨタ自動車×北陸電力 |
| | | | | 14：00 | 【1部女子】ブラザー×オムロン |
| | | | | 16：00 | 【1部男子】大同特殊鋼×本田熊本 |
| | | 島根県 | 温泉津町総合体育館 | 11：00 | 【1部女子】イズミ×ムネカタ |
| 2 | 11月1日（水） | 栃木県 | 栃木市総合体育館 | 17：00 | 【1部男子】OSAKI OSOL×湧永製薬 |
| | | | | 18：30 | 【1部女子】日立栃木×立山アルミ |
| | | 熊本県 | 熊本市総合体育館 | 17：30 | 【2部男子】トヨタ自動車×豊田合成 |
| | | | | 19：00 | 【1部男子】本田熊本×本田技研 |
| | 11月3日（金） | 愛知県 | 稲永スポーツセンター | 13：00 | 【1部男子】デンソー×三陽商会 |
| | | | | 15：00 | 【1部女子】ブラザー×北國銀行 |
| | | 愛知県 | 刈谷市体育館 | 18：30 | 【1部男子】トヨタ車体×大同特殊鋼 |
| | | 山梨県 | 塩山市民体育館 | 18：00 | 【1部女子】シャトレーゼ×オムロン |
| | | 鹿児島県 | 国分市総合体育館 | 18：00 | 【1部女子】ソニー国分×イズミ |
| | 11月4日（土） | 大阪府 | 八尾市総合体育館 | 14：00 | 【2部男子】大阪ガス×トクヤマ |
| 3 | 11月5日（日） | 福井県 | 福井県営体育館 | 13：00 | 【1部男子】大同特殊鋼×OSAKI OSOL |
| | | | | 14：30 | 【2部男子】北陸電力×アラコ九州 |
| | | 三重県 | 鈴鹿市体育館 | 13：00 | 【1部男子】本田技研×トヨタ車体 |
| | | 広島県 | 東区スポーツセンター | 13：00 | 【1部女子】イズミ×ブラザー |
| | | | | 15：00 | 【1部男子】湧永製薬×三陽商会 |
| | | 熊本県 | 山鹿市総合体育館 | 14：00 | 【1部男子】本田熊本×デンソー |
| | | | | 15：30 | 【1部女子】オムロン×日立栃木 |
| | | 福島県 | 本宮町体育館 | 14：00 | 【1部女子】ムネカタ×ソニー国分 |
| | | 石川県 | 小松総合体育館 | 16：00 | 【1部女子】北國銀行×シャトレーゼ |
| 4 | 11月10日（金） | 広島県 | 湧永満之記念体育館 | 18：00 | 【1部男子】湧永製薬×デンソー |
| | | 愛知県 | 豊田合成㈱健康管理センター | 19：00 | 【2部男子】豊田合成×大阪ガス |
| | 11月11日（土） | 愛知県 | 刈谷市体育館 | 15：00 | 【1部男子】トヨタ車体×本田熊本 |
| | | 秋田県 | 湯沢市総合体育館 | 18：00 | 【1部女子】シャトレーゼ×イズミ |
| | | 栃木県 | 栃木市総合体育館 | 14：00 | 【1部女子】日立栃木×北國銀行 |
| | | 愛知県 | 三好公園総合体育館 | 13：30 | 【2部男子】トヨタ自動車×アラコ九州 |
| | | | | 15：00 | 【1部女子】ブラザー×ソニー国分 |
| | | 山口県 | 徳山市総合スポーツセンター | 14：00 | 【2部男子】トクヤマ×北陸電力 |
| | 11月12日（日） | 埼玉県 | 三郷市総合体育館 | 11：30 | 【1部女子】立山アルミ×ムネカタ |
| | | | | 13：00 | 【1部男子】三陽商会×大同特殊鋼 |
| | | | | 14：40 | 【1部男子】OSAKI OSOL×本田技研 |
| 5 | 11月16日（木） | 広島県 | 東区スポーツセンター | 18：30 | 【1部女子】イズミ×日立栃木 |
| | 11月18日（土） | 愛知県 | 知立市福祉体育館 | 14：30 | 【1部男子】トヨタ車体×デンソー |
| | | 愛知県 | 知多市民体育館 | 15：00 | 【1部男子】大同特殊鋼×湧永製薬 |
| | | 愛知県 | 稲沢市総合体育館 | 15：00 | 【2部男子】トヨタ自動車×トクヤマ |
| | | | | 17：00 | 【2部男子】豊田合成×アラコ九州 |
| | | 高知県 | 県立春野運動公園体育館 | 18：00 | 【1部女子】ソニー国分×シャトレーゼ |
| | 11月19日（日） | 三重県 | 鈴鹿市体育館 | 13：00 | 【1部男子】本田技研×三陽商会 |
| | | 山形県 | 東根市民体育館 | 11：00 | 【1部女子】ムネカタ×ブラザー |

# 第25回日本ハンドボールリーグ日程表



| 週 | 月　日 | 開催地 | 会　　場 | 時 間 | 組 み 合 わ せ |
|---|---|---|---|---|---|
| 5 | 11月19日（日） | 熊本県 | 熊本県立総合体育館 | 14：00 | 【1部女子】オムロン×立山アルミ |
| | | | | 15：30 | 【1部男子】本田熊本×OSAKI OSOL |
| | | 福井県 | 北陸電力福井体育館フレア | 10：00 | 【2部男子】北陸電力×大阪ガス |
| 6 | 11月21日（火） | 広島県 | 広島県立総合体育館大アリーナ | 14：30 | 【1部男子】湧永製薬×本田技研 |
| | 11月22日（水） | 山口県 | 徳山市総合スポーツセンター | 18：00 | 【2部男子】トクヤマ×アラコ九州 |
| | 11月23日（木） | 埼玉県 | 三郷市総合体育館 | 14：30 | 【1部男子】OSAKI OSOL×トヨタ車体 |
| | | 東京都 | 東京体育館 | 16：30 | 【1部男子】三陽商会×本田熊本 |
| | | 愛知県 | 岡崎市体育館 | 14：00 | 【1部男子】デンソー×大同特殊鋼 |
| | | 茨城県 | 水海道市民体育館 | 14：00 | 【1部女子】シャトレーゼ×ブラザー |
| | | 栃木県 | 栃木市総合体育館 | 15：00 | 【1部女子】日立栃木×ソニー国分 |
| | | 富山県 | 富山市総合体育館 | 15：30 | 【1部女子】立山アルミ×北國銀行 |
| | | 熊本県 | 松橋町体育文化センター | 15：30 | 【1部女子】オムロン×ムネカタ |
| | | 兵庫県 | 大阪ガス今津総合グランド | 14：00 | 【2部男子】大阪ガス×トヨタ自動車 |
| 7 | 11月25日（土） | 三重県 | 鈴鹿市体育館 | 13：00 | 【1部男子】本田技研×大同特殊鋼 |
| | | 熊本県 | 鹿央町公民館 | 16：00 | 【1部男子】本田熊本×湧永製薬 |
| | | 福井県 | 北陸電力福井体育館フレア | 13：00 | 【1部女子】北國銀行×オムロン |
| | | | | 14：30 | 【2部男子】北陸電力×豊田合成 |
| | | 広島県 | 東区スポーツセンター | 18：00 | 【1部女子】イズミ×立山アルミ |
| | 11月26日（日） | 愛知県 | 岡崎市体育館 | 11：20 | 【1部男子】トヨタ車体×三陽商会 |
| | | | | 13：00 | 【1部女子】ブラザー×日立栃木 |
| | | | | 14：40 | 【1部男子】デンソー×OSAKI OSOL |
| | | 山梨県 | 塩山市民体育館 | 18：00 | 【1部女子】シャトレーゼ×ムネカタ |
| 8 | 11月29日（水） | 栃木県 | 栃木市総合体育館 | 18：00 | 【1部女子】日立栃木×シャトレーゼ |
| | 12月2日（土） | 福井県 | 北陸電力福井体育館フレア | 13：00 | 【1部女子】立山アルミ×ソニー国分 |
| | | | | 14：30 | 【2部男子】北陸電力×トヨタ自動車 |
| | | 愛知県 | 稲沢市総合体育館 | 16：30 | 【2部男子】豊田合成×トクヤマ |
| | | 兵庫県 | 大阪ガス今津総合グランド | 14：00 | 【2部男子】大阪ガス×アラコ九州 |
| | 12月3日（日） | 埼玉県 | 三郷市総合体育館 | 15：30 | 【1部男子】OSAKI OSOL×三陽商会 |
| | | 愛知県 | 岡崎市体育館 | 14：00 | 【1部男子】デンソー×本田技研 |
| | | 大阪府 | 堺市立家原大池体育館 | 14：00 | 【1部男子】湧永製薬×トヨタ車体 |
| | | 熊本県 | 天草工業高校体育館 | 13：00 | 【1部女子】オムロン×イズミ |
| | | | | 14：30 | 【1部男子】本田熊本×大同特殊鋼 |
| | | 福島県 | 本宮町総合体育館 | 14：00 | 【1部女子】ムネカタ×北國銀行 |
| 9 | 12月6日（水） | 三重県 | 鈴鹿市体育館 | 18：30 | 【1部男子】本田技研×本田熊本 |
| | 12月7日（木） | 山口県 | 徳山市総合スポーツセンター | 18：00 | 【2部男子】トクヤマ×大阪ガス |
| | 12月8日（金） | 愛知県 | 稲沢市総合体育館 | 19：00 | 【2部男子】豊田合成×トヨタ自動車 |
| | 12月9日（土） | 東京都 | 府中市立総合体育館 | 15：00 | 【1部男子】三陽商会×デンソー |
| | | 愛知県 | 枇杷島スポーツセンター | 14：00 | 【1部女子】ブラザー×立山アルミ |
| | | | | 16：00 | 【1部男子】大同特殊鋼×トヨタ車体 |
| | | 広島県 | 呉市体育館 | 13：00 | 【1部女子】イズミ×北國銀行 |
| | | | | 15：00 | 【1部男子】湧永製薬×OSAKI OSOL |
| | | 熊本県 | 人吉スポーツパレス | 14：00 | 【2部男子】アラコ九州×北陸電力 |
| | | | | 15：30 | 【1部女子】オムロン×ソニー国分 |
| | 12月10日（日） | 福島県 | 本宮町総合体育館 | 14：00 | 【1部女子】ムネカタ×日立栃木 |
| 10 | 1月14日（日） | 福島県 | 本宮町総合体育館 | 14：00 | 【1部女子】ムネカタ×イズミ |
| | | 山梨県 | 小瀬スポーツ公園体育館 | 18：00 | 【1部女子】シャトレーゼ×立山アルミ |
| | | 宮崎県 | 宮崎市総合体育館 | 12：00 | 【1部女子】ソニー国分×北國銀行 |
| | | | | 13：30 | 【1部女子】オムロン×ブラザー |
| 11 | 1月20日（土） | 京都府 | 京都府立体育館 | 15：00 | 【1部女子】オムロン×シャトレーゼ |

# 第25回日本ハンドボールリーグ日程表

| 週 | 月　日 | 開催地 | 会　　場 | 時 間 | 組 み 合 わ せ |
|---|---|---|---|---|---|
| 11 | 1月21日（日） | 富山県 | 氷見市ふれあいスポーツセンター | 13：00 | 【1部女子】北國銀行×ブラザー |
| | | | | 14：30 | 【1部女子】立山アルミ×日立栃木 |
| | | 香川県 | 高松市市民文化センター | 13：00 | 【1部女子】イズミ×ソニー国分 |
| 12 | 1月27日（土） | 栃木県 | 栃木市総合体育館 | 14：00 | 【1部女子】日立栃木×オムロン |
| | | 鹿児島県 | ソニー国分体育館 | 13：00 | 【1部女子】ソニー国分×ムネカタ |
| | 1月28日（日） | 山梨県 | 塩山市民体育館 | 18：30 | 【1部女子】シャトレーゼ×北國銀行 |
| | | 愛知県 | 枇杷島スポーツセンター | 14：00 | 【1部女子】ブラザー×イズミ |
| 13 | 2月3日（土） | 広島県 | 東区スポーツセンター | 14：00 | 【1部女子】イズミ×シャトレーゼ |
| | | 鹿児島県 | 鹿児島アリーナ | 13：00 | 【1部女子】ソニー国分×ブラザー |
| | 2月4日（日） | 福島県 | 本宮町総合体育館 | 14：00 | 【1部女子】ムネカタ×立山アルミ |
| | | 石川県 | 小松総合体育館 | 14：00 | 【1部女子】北國銀行×日立栃木 |
| 14 | 2月9日（金） | 三重県 | 本田技研健保体育館 | 18：00 | 【1部男子】本田技研×OSAKI OSOL |
| | 2月10日（土） | 熊本県 | 水俣市体育館 | 15：00 | 【1部男子】本田熊本×トヨタ車体 |
| | | 山梨県 | 鐘山スポーツセンター体育館 | 16：00 | 【1部女子】シャトレーゼ×ソニー国分 |
| | 2月11日（日） | 愛知県 | 東海市民体育館 | 13：00 | 【1部男子】デンソー×湧永製薬 |
| | | | | 15：00 | 【1部女子】ブラザー×ムネカタ |
| | | 栃木県 | 栃木市総合体育館 | 15：00 | 【1部女子】日立栃木×イズミ |
| | | 富山県 | 小杉町総合体育センター | 14：00 | 【1部女子】立山アルミ×オムロン |
| | 2月12日（月） | 長崎県 | 長崎県立総合体育館 | 14：00 | 【1部男子】大同特殊鋼×三陽商会 |
| 15 | 2月15日（水） | 佐賀県 | 佐賀県総合体育館 | 18：30 | 【2部男子】アラコ九州×トヨタ自動車 |
| | 2月17日（土） | 愛知県 | 知立市福祉体育館 | 14：00 | 【1部女子】ブラザー×シャトレーゼ |
| | | | | 15：30 | 【1部男子】トヨタ車体×本田技研 |
| | | 大阪府 | 八尾市総合体育館 | 14：00 | 【2部男子】大阪ガス×豊田合成 |
| | 2月18日（日） | 埼玉県 | 三郷市総合体育館 | 14：30 | 【1部男子】OSAKI OSOL×大同特殊鋼 |
| | | 東京都 | 東京体育館 | 15：00 | 【1部男子】三陽商会×湧永製薬 |
| | | 福島県 | 本宮町総合体育館 | 12：30 | 【1部女子】ムネカタ×オムロン |
| | | | | 14：10 | 【1部男子】デンソー×本田熊本 |
| | | 石川県 | 小松総合体育館 | 13：00 | 【2部男子】北陸電力×トクヤマ |
| | | | | 14：30 | 【1部女子】北國銀行×立山アルミ |
| | | 長崎県 | 佐世保市体育文化館 | 13：00 | 【1部女子】ソニー国分×日立栃木 |
| 16 | 2月23日（金） | 愛知県 | 岡崎市体育館 | 18：30 | 【1部男子】デンソー×トヨタ車体 |
| | 2月24日（土） | 広島県 | 東区スポーツセンター | 14：00 | 【1部男子】湧永製薬×大同特殊鋼 |
| | | 沖縄県 | 東風平町営体育館 | 13：00 | 【1部女子】オムロン×北國銀行 |
| | | | | 14：30 | 【1部男子】OSAKI OSOL×本田熊本 |
| | | 青森県 | 青森県総合運動公園体育館 | 14：00 | 【1部女子】日立栃木×ブラザー |
| | | 兵庫県 | 大阪ガス今津総合グランド | 14：00 | 【2部男子】大阪ガス×北陸電力 |
| | | 佐賀県 | 佐賀県総合体育館 | 15：00 | 【2部男子】アラコ九州×豊田合成 |
| | 2月25日（日） | 東京都 | 駒沢体育館 | 15：00 | 【1部男子】三陽商会×本田技研 |
| | | 福島県 | 本宮町総合体育館 | 14：00 | 【1部女子】ムネカタ×シャトレーゼ |
| | | 富山県 | 三協アルミスポーツセンター | 14：00 | 【1部女子】立山アルミ×イズミ |
| | | 山口県 | 徳山市総合スポーツセンター | 14：00 | 【2部男子】トクヤマ×トヨタ自動車 |
| 17 | 3月2日（金） | 石川県 | 金沢市総合体育館 | 18：00 | 【1部女子】北國銀行×ムネカタ |
| | | 三重県 | 本田技研健保体育館 | 18：00 | 【1部男子】本田技研×湧永製薬 |
| | 3月3日（土） | 愛知県 | 知立市福祉体育館 | 14：30 | 【1部男子】トヨタ車体×OSAKI OSOL |
| | | 愛知県 | 稲沢市総合体育館 | 16：30 | 【2部男子】トヨタ自動車×大阪ガス |
| | | | | 18：30 | 【2部男子】豊田合成×北陸電力 |
| | | 佐賀県 | 佐賀県総合体育館 | 15：00 | 【2部男子】アラコ九州×トクヤマ |
| | 3月4日（日） | 愛知県 | 枇杷島スポーツセンター | 14：00 | 【1部男子】大同特殊鋼×デンソー |
| | | 山梨県 | 山梨市民総合体育館 | 16：00 | 【1部女子】シャトレーゼ×日立栃木 |

# 第25回日本ハンドボールリーグ日程表



| 週 | 月　日 | 開催地 | 会　場 | 時 間 | 組 み 合 わ せ |
|---|---|---|---|---|---|
| 17 | 3月4日（日） | 大分県 | 大分県立総合体育館 | 12:30 | 【1部女子】ソニー国分×立山アルミ |
| | | | | 14:00 | 【1部男子】本田熊本×三陽商会 |
| | | 広島県 | 東区スポーツセンター | 14:00 | 【1部女子】イズミ×オムロン |
| 18 | 3月10日（土） | 広島県 | 湧永満之記念体育館 | 14:00 | 【1部男子】湧永製薬×本田熊本 |
| | | 栃木県 | 栃木市総合体育館 | 14:00 | 【1部女子】日立栃木×ムネカタ |
| | | 鹿児島県 | 名瀬市総合体育館 | 16:00 | 【1部女子】ソニー国分×オムロン |
| | 3月11日（日） | 神奈川県 | 横浜文化体育館 | 13:00 | 【1部男子】OSAKI OSOL×デンソー |
| | | | | 15:00 | 【1部男子】三陽商会×トヨタ車体 |
| | | 愛知県 | 東海市民体育館 | 14:00 | 【1部男子】大同特殊鋼×本田技研 |
| | | 石川県 | 金沢市総合体育館 | 13:00 | 【1部女子】立山アルミ×ブラザー |
| | | | | 15:00 | 【1部女子】北國銀行×イズミ |
| プレーオフ | 3月17日（土） | 東京都 | 駒沢体育館 | 15:00 | 女子プレーオフ準決勝 |
| | | | | 17:00 | 男子プレーオフ準決勝 |
| | 3月18日（日） | 東京都 | 駒沢体育館 | 13:00 | 女子プレーオフ決勝 |
| | | | | 15:00 | 男子プレーオフ決勝 |

## 第25回日本リーグ展望

第25回日本ハンドボールリーグが10月24日よりいよいよ開幕！ 今年も見どころはいっぱいだ！

一部男子で3年連続Ｖを目指す本田技研は、守りの四方を中心にストックラン、今年監督となったヴォル、加藤、斉藤、阿部らでチームを引っ張る。大同特殊鋼は守りはやはり日原、攻撃は朴、白の韓国コンビに加え冨本、ポストの藤井がからんでくると面白い。湧永製薬はアイルランドよりダグルシグルドソンとスペイン留学から帰ってきた田場を加え、中山、ブラマニスとの歯車も合ってきた。酒巻新監督のもとチームをうまくまとめＶを狙う。三陽商会は岩本、中川を中心にベテラン田中茂、田中将がうまくかみ合えば上位3チームをおびやかすこと間違いなし。トヨタ車体は日新製鋼より移籍の角谷を加え攻撃の幅ができた。野村、岩本、竹下とのコンビが合えば、守りは林田におまかせ。本田熊本は台湾より譚宗聖が加入、セルゲイジザと田中、佐伯がチームを引っ張る。上位進出に一目。OSAKI OSOLは首藤新監督のもと新加入メンバーはいないものの森本を中心に辻、荒尾、東、小野がうまくからんでくれば上位進出に加わることは間違いなし。DENSO FADLESSは武田を軸に山内、長崎、飯山で足を生かしたスピードハンドボールで上位を狙う。

女子は昨年3チームがリーグを脱退し移籍組が多く、各チーム補強が目立つ。まずはイズミ。青戸を中心に呉、橋詰、OSAKIより移籍の川村でチームを引っ張る。林監督も、もちろん。北國銀行は上出、小松を中心に即戦力の筑波大より村上、大体大よりGK田中を補強している。あとは荷川取監督がうまく仕上げて初Ｖを狙う。立山アルミは前山、中塚が新加入の佐藤（国士大）と水野（福教大）をうまくリードし劉晋淑にからんでくれれば上位進出間違いなし。オムロンは守りの柱の山口を軸に水野、林と移籍の山下（大和）、佐久川（OSAKI）が加わってニューオムロンでのスタート。ムネカタに入社した佐久川と双子の姉妹であり、2人の激戦も見どころだが、何と言っても今年こそ久々のＶを狙う。ブラザー工業は菅谷（美枝・美奈）を羽出重がうまく引っ張ってリードできれば上位に食い込むチャンスあり。また、新人の品川（群馬女短大附高）も大型ロングヒッターでチャンスをものにできれば…。日立栃木はここ2年低迷があり、何とか上位を目指す意気込み。沖土居を中心に何と6人の移籍組。ジャスコより浦田（万紀・芳江）の双子姉妹、永松、大和よりGK飛田と倉知、そして韓国より金を加えて新しい日立として出発、爆発しそうな予感がある。シャトレーゼは稲吉、熊谷、阿部を中心に大和より移籍の藤浦が加わったことで得点力アップ、さらに日体大より大型GK細谷が入り攻守ともにバランスがとれた洋菓子界のチャンピオン、ハンドボール界のチャンピオンにもチャレンジだ。ソニー国分もOSAKIより移籍の穂積、GK後藤の加入、そして龍谷大より片山が加わり攻守にパワーとスピードがプラスされうまく仕上がっているので、さつまパワーで全力投球だ。ムネカタは今年から生まれ変わった東北魂でOSAKIより移籍の酒井、日体大から鈴木、大体大から佐久川らの新戦力を投入しての戦い。上位陣にどこまで食らいつけるか、まずは1勝を目指してスローオフ。

25回記念大会だけあってかなり激しい戦いが予想され、どのチームが優勝の2文字を手に入れるか、レッツゴー！

# アジア・ハンドボール連盟に正常化の動き

アジア・ハンドボール連盟COC（競技・運営）委員　井　薫

男女の世界選手権大会アジア予選は、男子は東アジアの2位として、西アジア2位のサウジアラビアと、アジア大陸としての3番目の出場権をかけてタイのバンコクで8月27日対戦、26対23で敗れ、2001年フランスでの本大会への夢が消えた。女子は8月10日から17日までの、上海での予選で韓国についで2位に入り、同年のイタリア大会への出場権をつかんだ。

成績や分析は強化委員会から報告されるが、予選会にまつわるアジア連盟の不手際は今回も予測通りに発生、現状をとらえた正常化が急務であり、その動きが今回上海の大会期間中に始まったので報告したい。

まず、この数年来の不始末を列記する。

①西アジアでのゲーム中の乱闘騒ぎの多発

②大会スケジュール、会場地の変更多発

③連盟レギュレーションの無断改訂

④参加国及び選手の経費負担の高騰

⑤各委員会の形骸化

これらの事項は、クウェートに本部を置くアジア連盟を、一握りのクウェート人で取り仕切る弊害が主原因である。

さらに専務理事のハッサン氏（パキスタン）の高齢化と無力（クウェートの傀儡）さも重なり、閉塞状態を呈している。

今回、東アジアのメンバーと西アジアのバーレーンの代表で数回会合の後、8月17日、日本の渡邊副会長を軸に、日本、中国、韓国、台湾、バハレーンで協議、正常化にむけ意思の統一を計り、以下の問題点の解決に協力体制をつくった。

(1) 専務理事の変更

(2) 理事会、委員会の正常化、各国1人とする

(3) 近い将来、連盟事務局を東アジアに移したい

特に数年来の不始末である①〜⑤の改善を当面テーマとする。

この際に一番重要なことは、いかに主導権を握れるかにつきる、特に西アジア動向が鍵となる点、バーレーンのジャリル専務理事が大変意欲的で、カタール、シリア、イラン、UAE等は現状に不満であり説得をすることを約した。

東アジア諸国については日、韓、中が共同で理解を得られるようにすすめる。

いずれにしても、アジアにおけるハンドボールの普及、発展のための改革の必要性を出席者全員で確認する有意義な会であった。


あなたの元気応援します。



医薬品

● 滋養強壮 ● 虚弱体質
● 肉体疲労・病後の体力低下・胃腸障害・栄養障害・発熱性消耗性疾患・妊娠授乳期などの場合の栄養補給




医薬品





湧永製薬株式会社　お取扱い店のお問合わせは　0120-39-0971

平成11年度から
新会員登録制度
スタート！

# がんばれ ハンドボール 10万人会




## ● HANDBALL FAMILY

| | 年会費 | 主な特典 |
|---|---|---|
| グランド会員 | 10.000円 | 日本協会機関誌（年11回）<br>日本協会主催大会無料パス<br>会員バッジ<br>日本協会認定グッズの割引 |
| ファミリー会員 | 3.000円 | 日本協会主催大会無料<br>ペア券1枚<br>会員バッジ<br>日本協会認定グッズの割引 |

## ■登録増によるメリット

- メジャースポーツとして認知
- 登録金の増収

↓

- スポンサーがつく
- 全員参加意識の高揚

↓

**財源確保**

↓

各種事業への活用と充実
- ○ 小・中学校の普及
- ○ ビーチ・マスターズ・車いすハンドの支援
- ○ ミニハンドボール競技の導入
- ○ ジュニア層の重点強化
- ○ 各大会の補助金アップ
- ○ 国際大会の招致
- ○ 一貫指導体制の確立

## 団結しよう！
### ハンドボール・ファミリー

少子化の影響などにより登録人口の減少傾向が各スポーツ界の大きな悩みになっています。昨今の経済不況も深刻さを増すばかりです。

今こそハンドボール・ファミリーが団結する時です。皆さんが自分のチームを愛するように、日本ハンドボールを愛して下さい。登録人口が増え、財源が大きくなれば、小・中学校の普及はもとより、ビーチ・マスターズ・車椅子ハンドボールの支援、ミニハンドボールの普及、また強化の根幹となるジュニア層の重点強化、そして各大会の補助金アップや国際大会の招致などにつながります。

皆さん1人ひとりが主役です。選手、審判、役員、OB、OGなどに限らず新たなサポーターも募り、全員参加のもとでメジャー化を図り、ハンドボール文化を構築しましょう。

## グランド会員、ファミリー会員への入会方法

所定の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、お申し込み下さい（郵送の場合は切手は必要ありません）。後日、日本ハンドボール協会から会員バッジなどをお送りします。年会費はご指定を受けた金融機関の口座から引き落としさせていただきます（ほとんどすべての金融機関でご利用できます）。

なお、申し込み用紙は、日本協会、各都道府県協会、または各全国連盟事務局にご請求下さい。

**財団法人　日本ハンドボール協会**

〒150-8050　東京都渋谷区神南1-1-1　岸記念体育館内
TEL.03-3481-2361　FAX.03-3481-2367
http://www.handball.or.jp/

# 第55回国民体育大会（ハンドボール競技）日程と参加チーム

［日程］

■10月15日(日)
成年女子１回戦
少年男子１回戦
少年女子１回戦

■10月16日(月)
成年男子１回戦
成年女子２回戦
少年男子２回戦
少年女子準々決勝

■10月17日(火)
成年男子準々決勝戦
成年女子準々決勝戦
少年男子準々決勝戦
少年女子準決勝戦

■10月18日(水)
成年男子準決勝戦
成年女子準決勝戦
少年男子準決勝戦
少年女子３位決定戦・決勝戦

■10月19日(木)
成年男子３位決定戦・決勝戦
成年女子３位決定戦・決勝戦
少年男子３位決定戦・決勝戦

［会場］

■成年男子
氷見市ふれあいスポーツセンター
氷見市総合体育館

■成年女子
氷見市ふれあいスポーツセンター

■少年男子
氷見市ふれあいスポーツセンター
富山県立氷見高等学校第一体育館

■少年女子
氷見市ふれあいスポーツセンター
氷見市総合体育館
富山県立有磯高等学校第二体育館

［出場県］

■成年男子
(北海道1)北海道(東北2)岩手/山形(関東3)東京/埼玉/茨城(北信越1)石川(東海2)愛知/三重(近畿2)大阪/京都(中国1)広島(四国1)香川(九州2)熊本/沖縄

■成年女子
(北海道1)北海道(東北3)宮城/岩手/秋田(関東4)山梨/栃木/東京/茨城(北信越2)石川/福井(東海2)愛知/三重(近畿3)大阪/京都/奈良(中国2)広島/山口(四国2)香川/愛媛(九州4)熊本/福岡/鹿児島/宮崎

■少年男子
(北海道1)北海道(東北2)山形/岩手(関東5)茨城/山梨/埼玉/神奈川/群馬(北信越2)福井/長野(東海3)愛知/岐阜/三重(近畿3)和歌山/京都/大阪(中国2)山口/広島(四国1)香川(九州4)長崎/福岡/沖縄/熊本

■少年女子
(北海道1)北海道(東北2)岩手/宮城(関東3)埼玉/茨城/東京(北信越1)福井(東海2)愛知/岐阜(近畿2)大阪/京都(中国1)山口(四国1)香川(九州2)大分/熊本

## ［10月の行事予定］

［大会］

★第55回国民体育大会
10月15日～19日／富山県

★第25回日本リーグ
10月24日開幕

［会議］

☆全国理事長会議
10月14日／富山県氷見市

☆常務理事会
10月28日／東京

## HAND BALL CONTENTS OCT




勝利の明日の為に
合い言葉は　まごころ
AMOK ENTERPRISE CO.,LTD.
私達が役立ちます
国内合宿・海外遠征からご家族の旅行まで
なにからなにまで手配致します。
株式会社 エモック・エンタープライズ
運輸大臣登録一般旅行業第1144号
〒105-0003
東京都港区西新橋１－19－３ 第２双葉ビル2F
TEL：03-3507-9777　FAX：03-3507-9771
一般旅行業取扱主任者　佐々木雅之

# 柔らかな感触で、最適なバウンド!




## 新発売




PKCH3-AD DX
5,500円




PKCH2-AD DX
5,400円




PKCH1-ADJ
3,600円

## 手縫い・国際公認球






PKCH3-AD
4,600円




PKCH2-AD
4,500円




PKCH2-ADR
2,700円







PKCH3-ADR
2,800円


MIKASA®
明星ゴム工業株式会社

(財)日本ハンドボール協会編『ハンドボール』第四一二号
昭和四十年六月七日第三種郵便物認可
平成十二年九月二十六日印刷
平成十二年十月一日発行
東京都渋谷区神南一―一―一
電話 代表 三四八一―二三六一
振替 〇〇一二〇―七―一〇二九三
編集兼発行人 市原則之
価格は登録金に含む

ITOCHU

# ますます元気な商社になる。

未開拓の荒れ地を耕し、種を植える。創意工夫を凝らして、それ以上の収穫を目指す。常に新しいことを考え、実践していかなければ、次の豊かさをカタチにすることはできません。これは、商社の舞台でもいえること。前向きな発想を、前向きな情熱で動かしていくことで、初めて大輪を咲かすことができるのです。斬新なアイデアとチャレンジ精神で、世界のマーケットを開拓する。10年先、20年先を視野に入れ、全ての情熱をぶつけていく。止まらないことが、エネルギー。ますます元気な伊藤忠商事に、ご期待ください。

Idea & Challenge

伊藤忠商事

URL http://www.itochu.co.jp

「伊藤忠商事(東京本社・大阪本社)は1997年12月に総合商社で初めてISO14001の認証を取得しました。」